



FY2024 1Q

Apr.2023 — Jun.2023

FINANCIAL RESULTS

TSE : Growth 7089

Agenda

1. 2024年3月期 第1四半期業績
2. 成長戦略
3. Appendix



当社の開示情報をIRメールにて配信しております。
どなたでも無料でご登録いただけます。

Mission

(共に)進化の中心へ

Vision

for Startups

Value

*Startups First
Be a Talent
The Team*



*Startups First
Be a Talent
The Team*

2024年3月期 第1四半期業績

厳しい事業環境のなか

- 前年同期比で増収を達成
- 受注高は過去最高値を大幅更新

2024年3月期 第1四半期

- 売上高729百万円（前年同期比+2.9%）、営業利益101百万円（前年同期比▲38.0%）と増収減益。計画は上回る
- 厳しい外部環境の中でも、受注高が952百万円（前年同期比+21.1%）と過去最高値を大きく更新
- 新卒社員の入社もあり、6月末時点での社員数は186名（前年同期比+53名）に拡大。人件費の増加により前年同期比減益となったが、将来の売上高増加を見据えた先行投資として今後も積極的な人材採用を実行予定

タレント エージェンシー

- 資金調達額減少を背景とした厳しい事業環境を受け、コンサルティングサービスが減収も人材紹介は増収をキープ
- 人材紹介は件数が伸び悩んだが、ハイレイヤーの採用ニーズを着実に支援できたことで単価が大きく上昇
また、営業努力の成果で、コンサルティングサービスは計画を上回るペースで進捗
- 受注高は過去最高の763百万円（前年同期比+17.4%）。Pre-IPOの新規顧客開拓が順調に進んでいることに加え、人材採用を強化し攻めの姿勢を見せるPost-IPOも含めた既存顧客のニーズを獲得・支援できたことが主因
- 入社1年未満の中途社員が大きく受注実績を上げており、昨年の人材採用の効果が表れ始める

オープン イノベーション

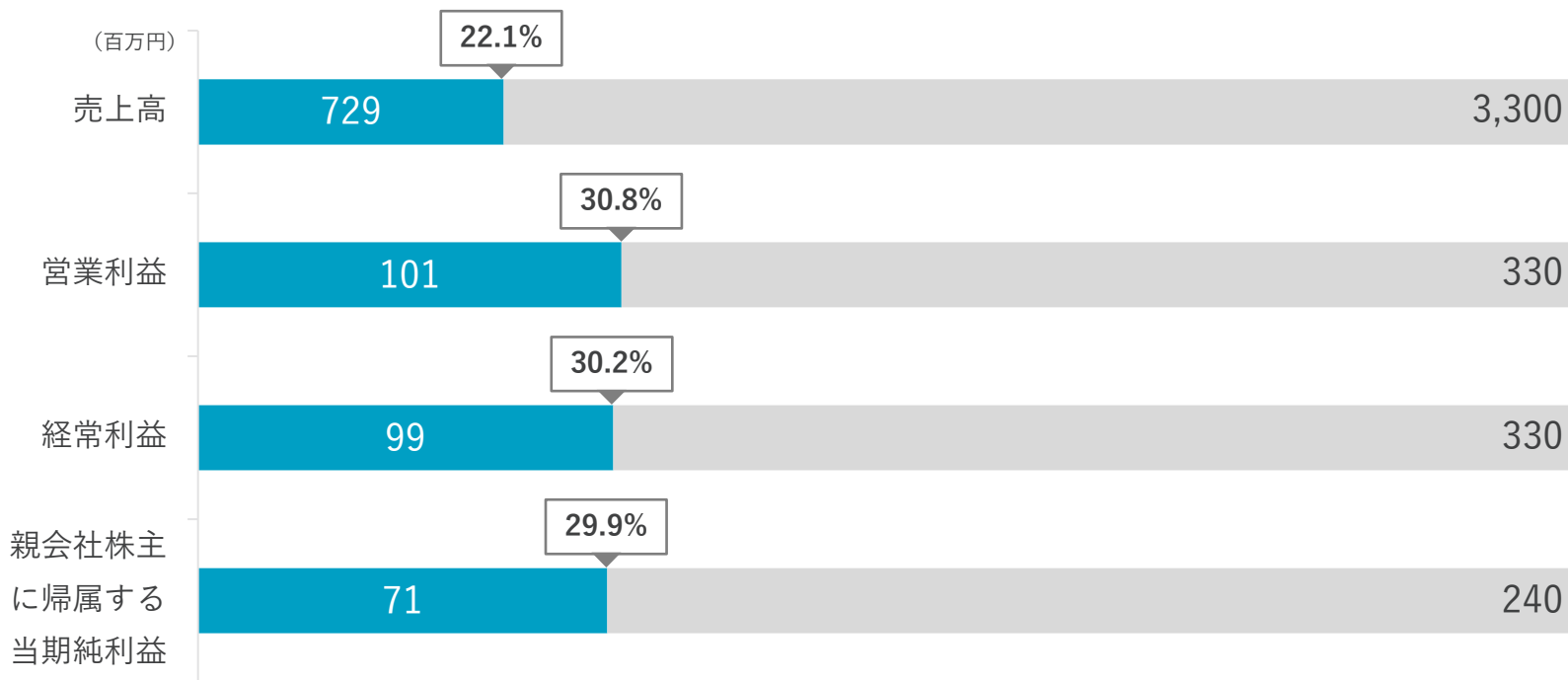
- 売上高は48百万円（前年同期比+99.7%）と増収、受注高は過去最高の188百万円（前年同期比+37.9%）
- 5周年を迎えた成長産業データベース『STARTUP DB』が会員数No.1にまで成長
- 約3年前に開始した中央官庁・地方公共団体との取り組み『Public Affairs』では継続的にスタートアップ関連事業を受託。行政と連動したエコシステム構築を推進
- 『成長産業カンファレンス2023』を11月に開催。初のハイブリッド開催を計画

今後の見通し

- 受注高が前年同期比で大きく上回ったものの、資金調達市場がいまだ厳しい状況であり、米国スタートアップの状況等を踏まえスタートアップを取り巻く事業環境の先行きが不透明と判断。現時点では売上高予想に変更なし
- 利益に対しての進捗が良いものの、2Q以降、成長フェーズにある各サービスへの積極的な投資を実行予定であり、現時点では段階利益予想に変更なし

【全社】1Q実績及び業績予想に対する進捗率

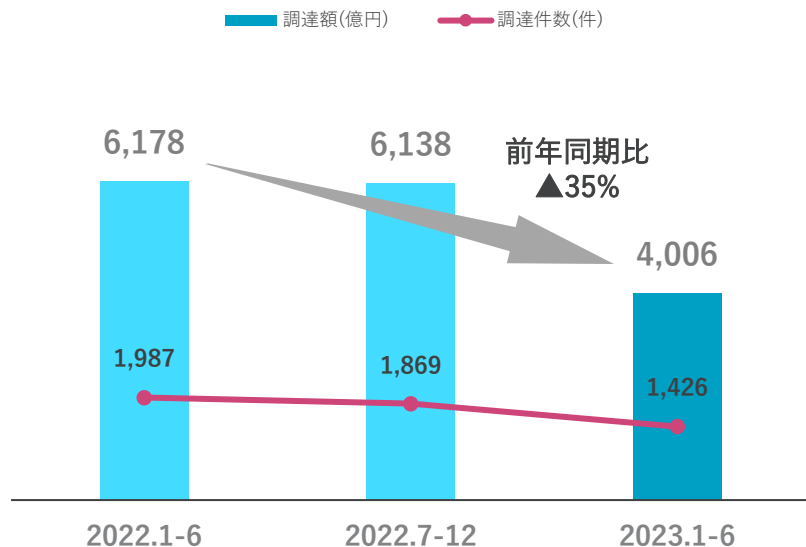
売上・段階利益ともに計画を上回り、順調に進捗している状況



【スタートアップを取り巻く環境】 資金調達市場の動向

資金調達市場は米国のリセッション懸念の影響を受けており、上半期資金調達額は35%減の状況
スタートアップはコスト調整等に対応しており、採用コストの抑制トレンドが続いている

2023年上半期の状況



参照) STARTUP DB 『2023年上半期国内スタートアップ投資動向レポート』
※デット含む

<前提情報>

スタートアップ企業のニーズ*

- ①資金調達(32.7%) ②人材採用(29.2%) ③販路拡大(27.4%)

*参照) VEC「ベンチャー白書2022」

調達した資金を人材採用に活用するケースが多い

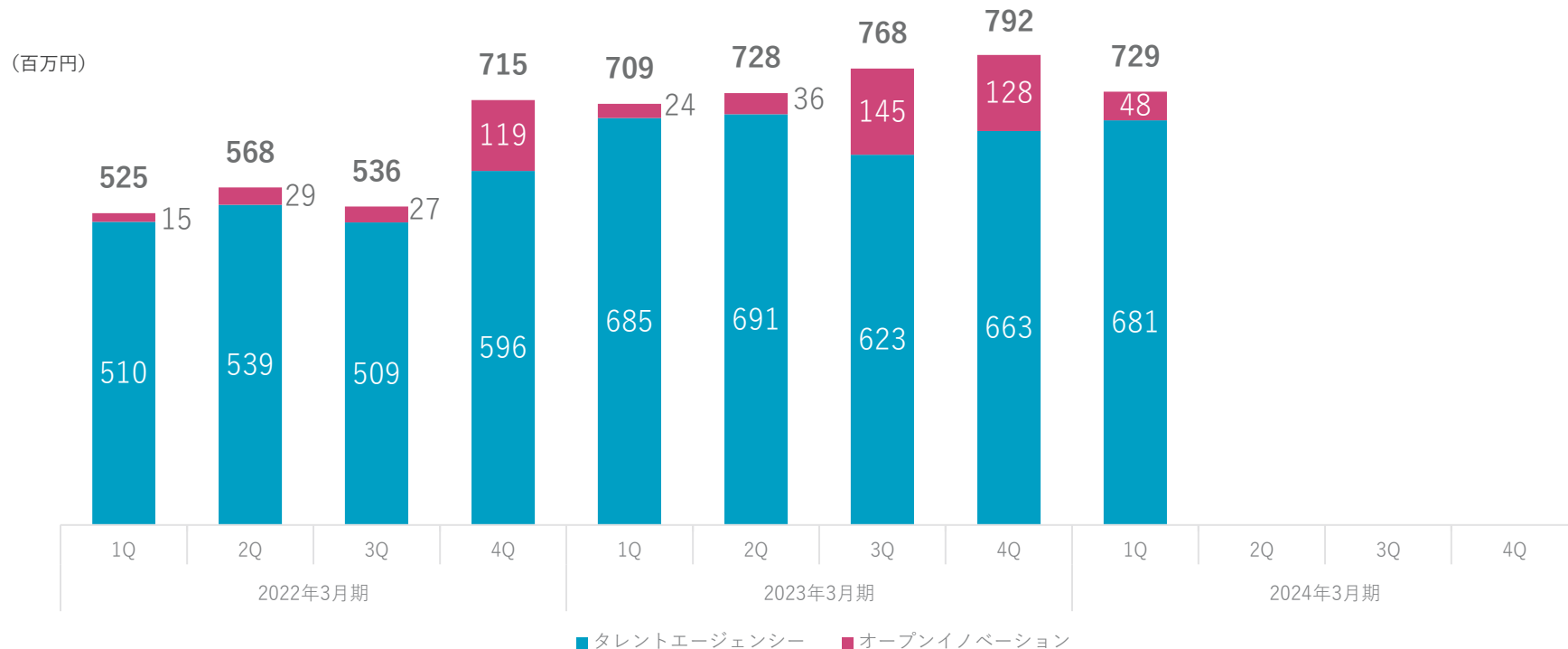
<今期の特徴>

- ・レイターステージの大型調達の減少
- ・適切な企業価値のスタートアップは順調に調達

フォースタートアップスの今期の重点施策である
Pre-IPOの新規顧客開拓は重要

【全社】売上高－四半期推移

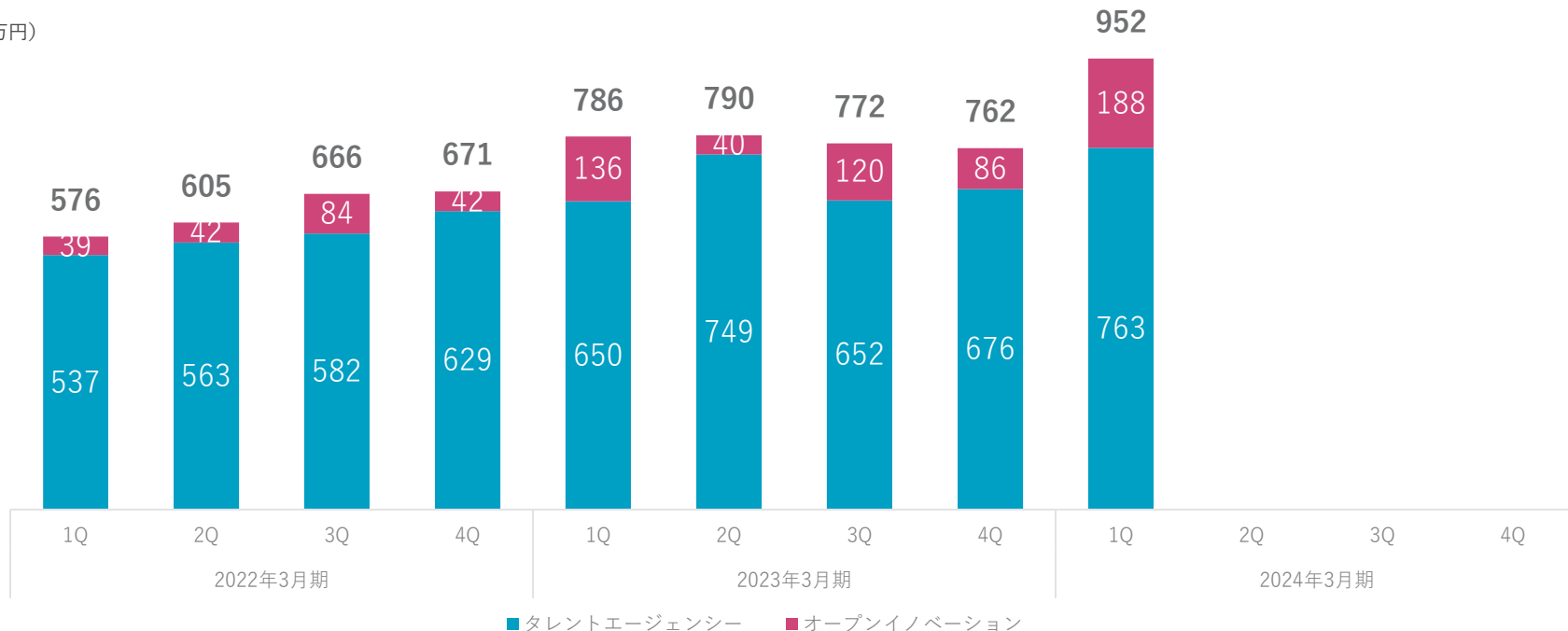
厳しい外部環境の中、前年同期比で全社増収を継続



【全社】受注高－四半期推移

厳しい事業環境ながらも力強い受注実績をあげる
過去最高の四半期受注高952百万円を達成

(百万円)



【全社】 当期重点施策の進捗状況

重点施策	進捗
① Pre-IPO市場の新規顧客拡大	下図（累計契約企業数）のとおり、新規顧客拡大を進めている ※契約企業数≠支援企業数。契約企業のみ人材紹介が可能
② 人材育成の強化	『志を育てる』の著者である田久保善彦氏を顧問に迎える 志を通じた能力開発の仕組みの進化・深化に関わっていただくことを想定
③ STARTUP DBへの投資	広告宣伝投資を実行中。2Q以降も継続的に実行予定

累計契約企業数の推移
(2023年6月末日時点)



【当期重点施策②'】 人材育成の強化

『志を育てる』の著者である田久保 善彦氏を顧問に迎え、人材育成を推進
社員の志の醸成や、能力開発などの仕組みの進化と深化に関わっていただくことを想定



フォースタートアップス 顧問

グロービス経営大学院 副学長

学校法人グロービス経営大学院 常務理事

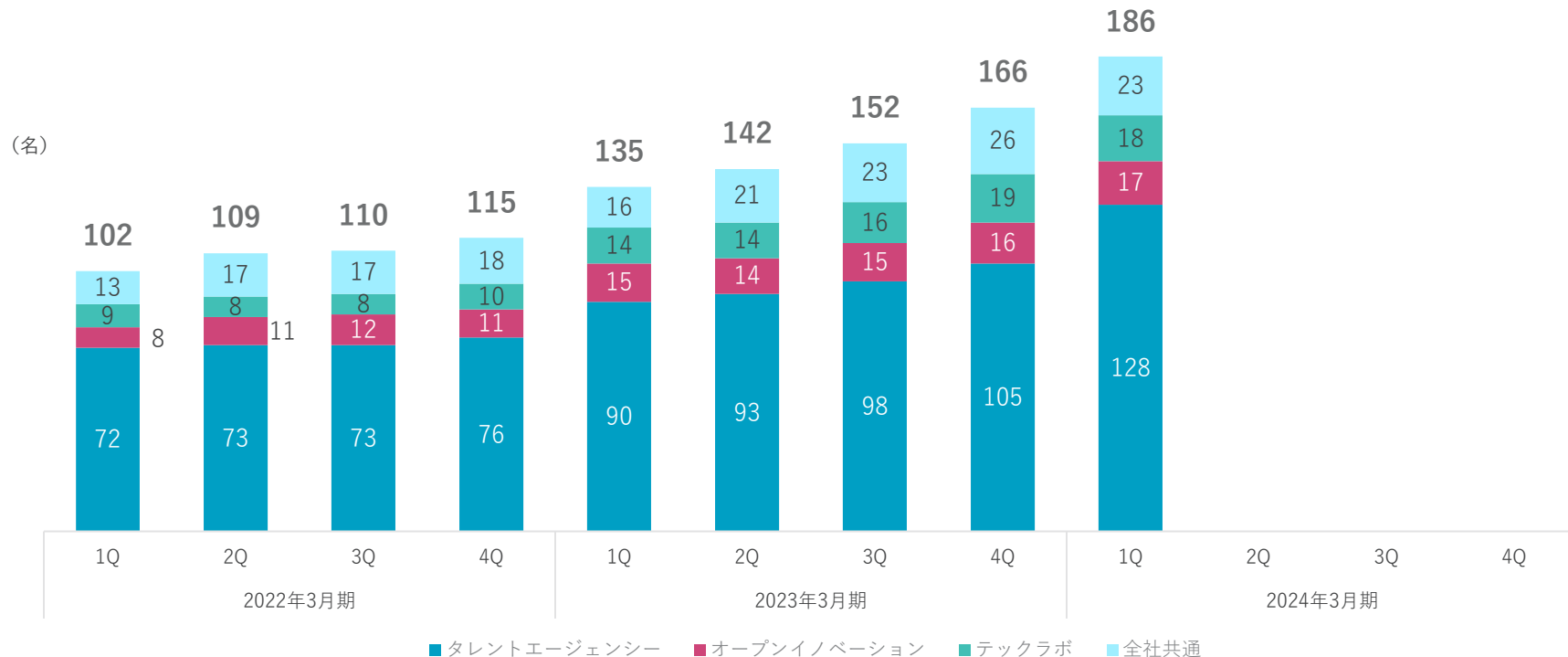
田久保 善彦 氏 就任



田久保 善彦 氏 プロフィール

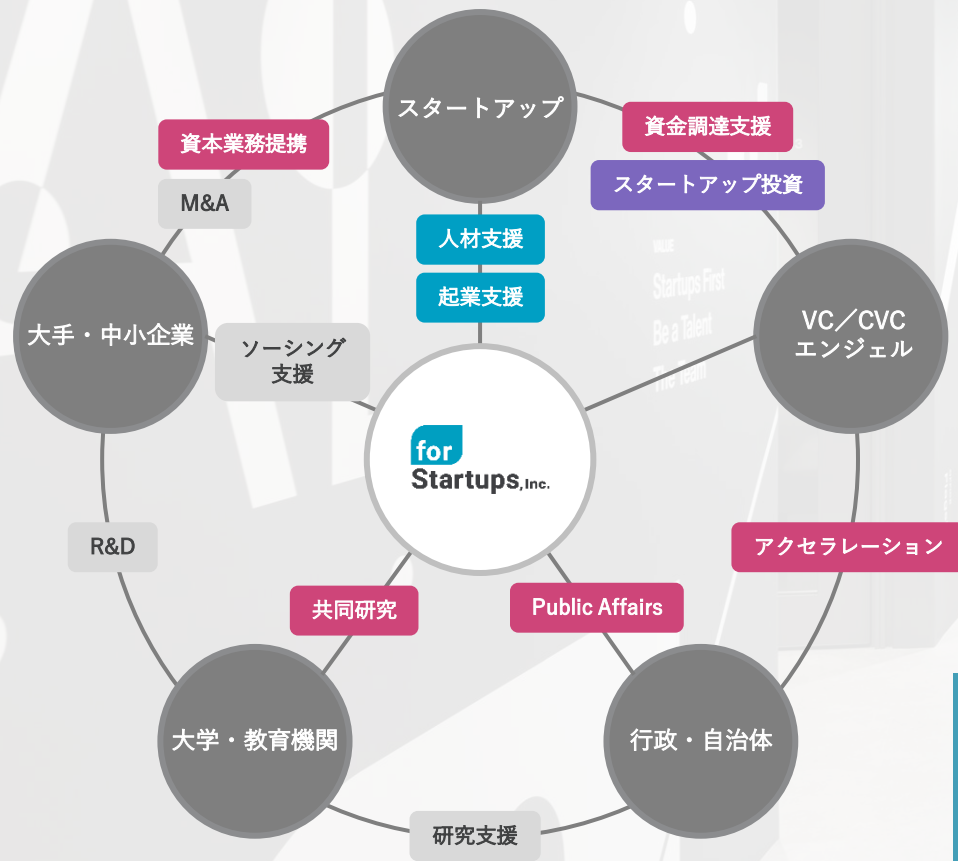
慶應義塾大学理工学部卒業、学士(工学)、修士(工学)、博士(学術)。スイスIMD PEDコース修了。株式会社三菱総合研究所を経て現職。経済同友会幹事、上場企業、スタートアップ企業社外取締役等も務める。著書に『ビジネス数字力を鍛える』『社内を動かす力』（ダイヤモンド社）、共著に『志を育てる（増補改訂版）』、『グロービス流 キャリアをつくる技術と戦略』、『27歳からのMBA グロービス流ビジネス基礎力10』、『創業三〇〇年の長寿企業はなぜ栄え続けるのか』、『これからのマネジャーの教科書』（東洋経済新報社）、『日本型「無私」の経営力』（光文社）、訳書に「信念に生きる～ネルソン・マンデラの行動哲学」（英治出版）等がある。

2023年4月入社の新卒社員を迎え入れたことで180名を超える体制に拡大



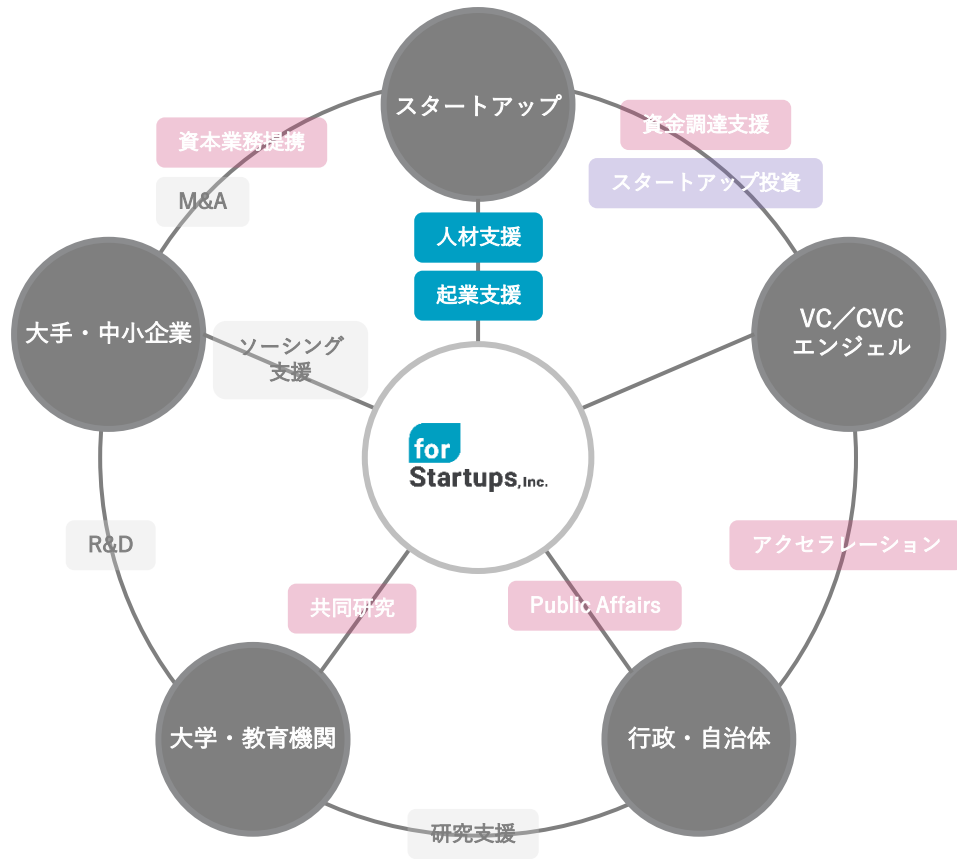
注)産休・育休等の休職中の社員を含んでおります。

Startup Eco System



サービス別の状況

Startup Eco System



Talent Agency

タレントエージェンシーサービス

#起業支援

#人材紹介

Open Innovation

オープンイノベーションサービス

#産官学連携

#エコシステム

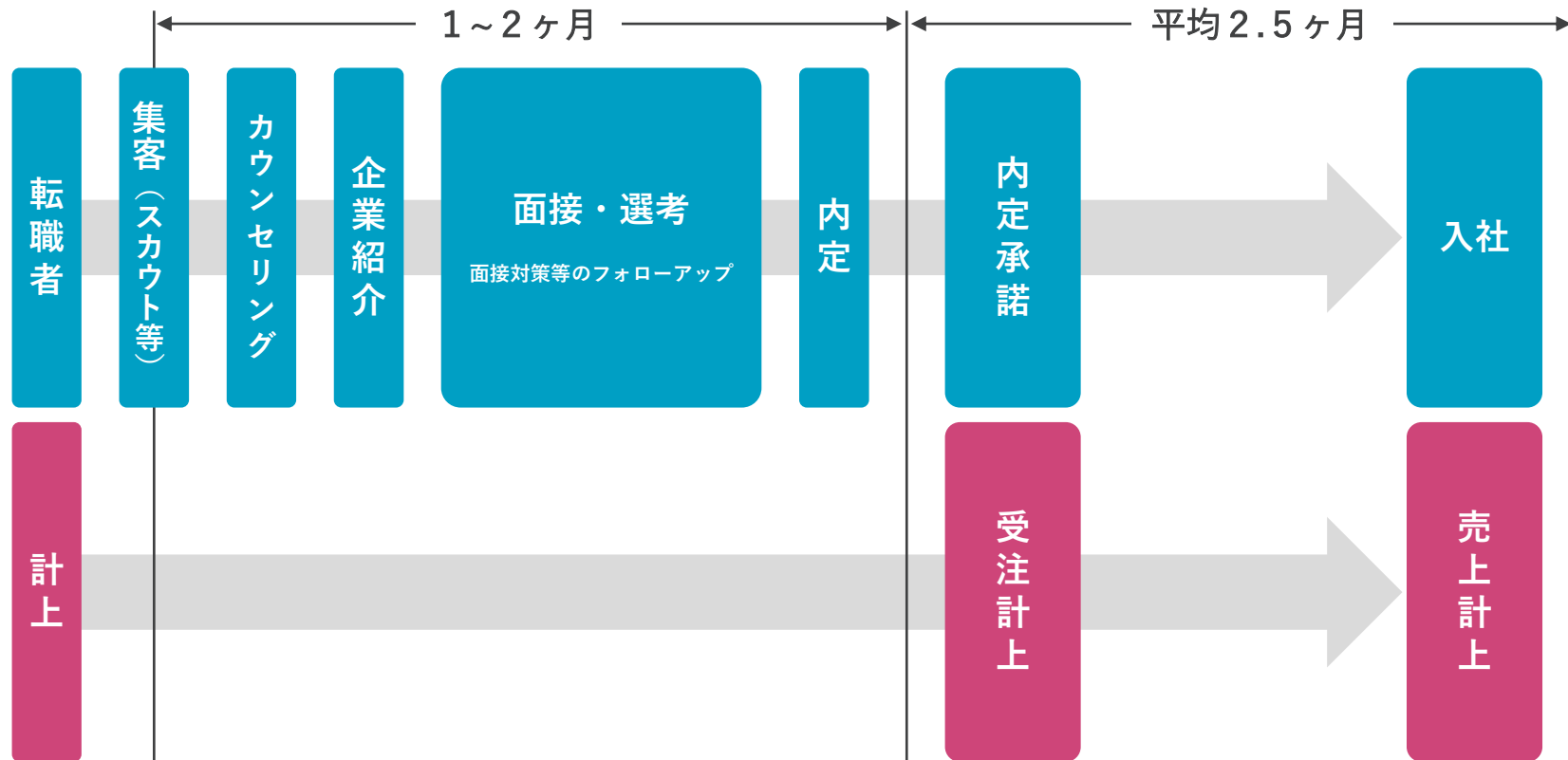
Venture Capital

ベンチャーキャピタル

#投資

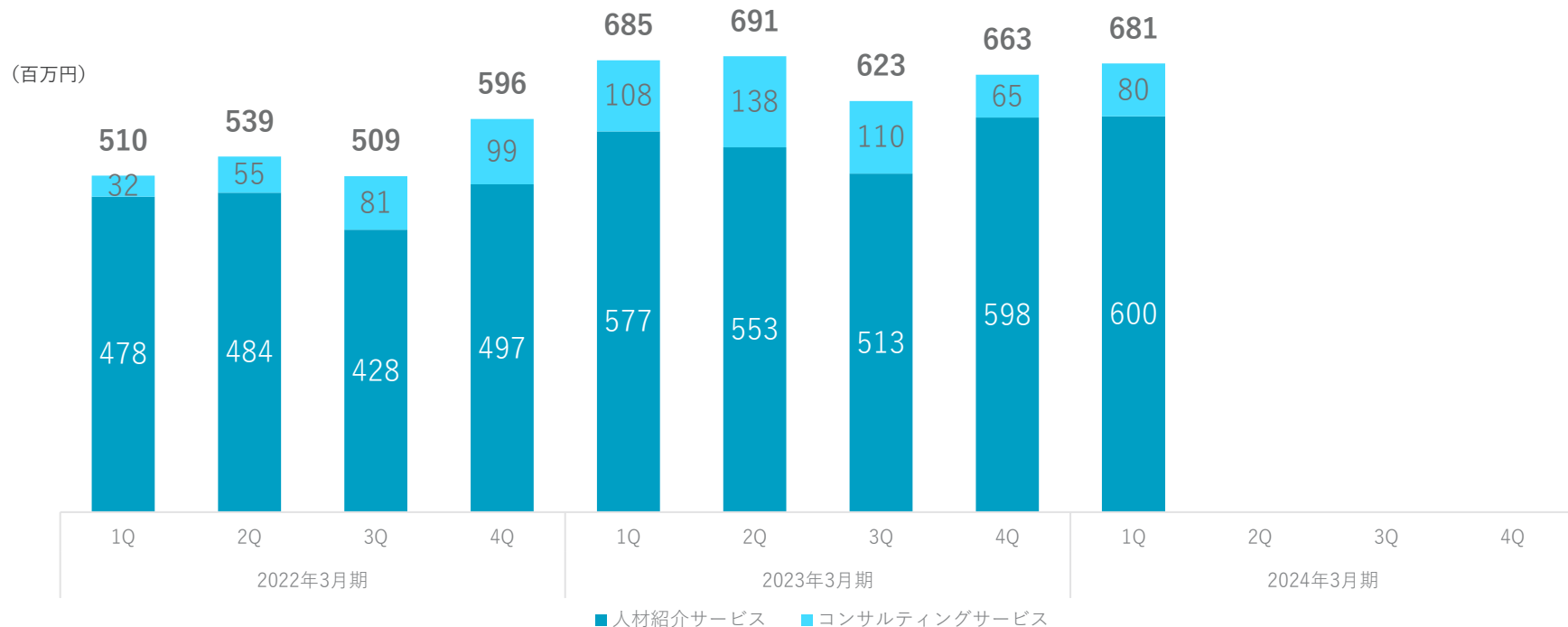
【タレントエージェンシー】人材紹介サービスのビジネスフロー

個人差はあるものの、初回接点から売上計上までは平均3～5ヶ月を要する



【タレントエージェンシー】売上高の推移

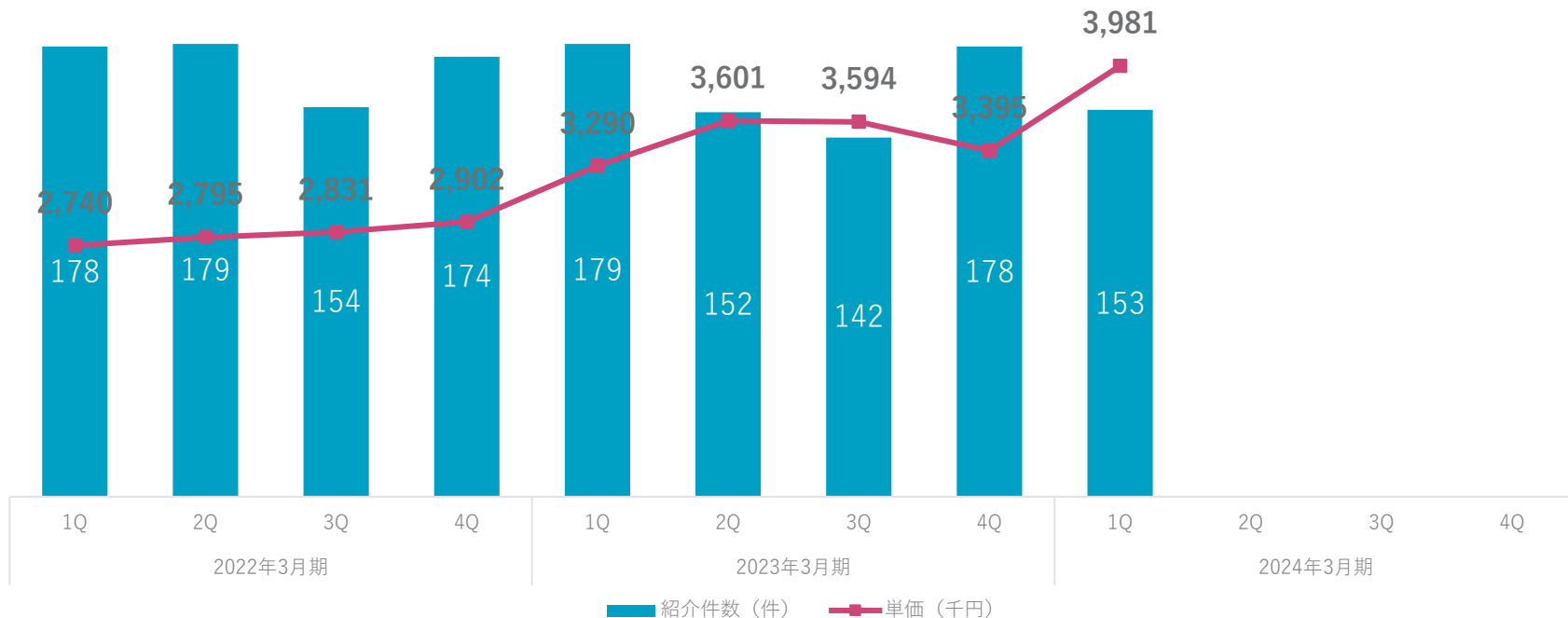
厳しい事業環境を受けながらも、単価の上昇により人材紹介サービスは増収
コンサルティングサービスは減収を見込んでいたが、顧客開拓により前期4Q実績からは持ち直す



【タレントエージェンシー】売上高分解－人材紹介取引数と単価の推移

外部環境を最も受けたタイミングとなり紹介件数が減少

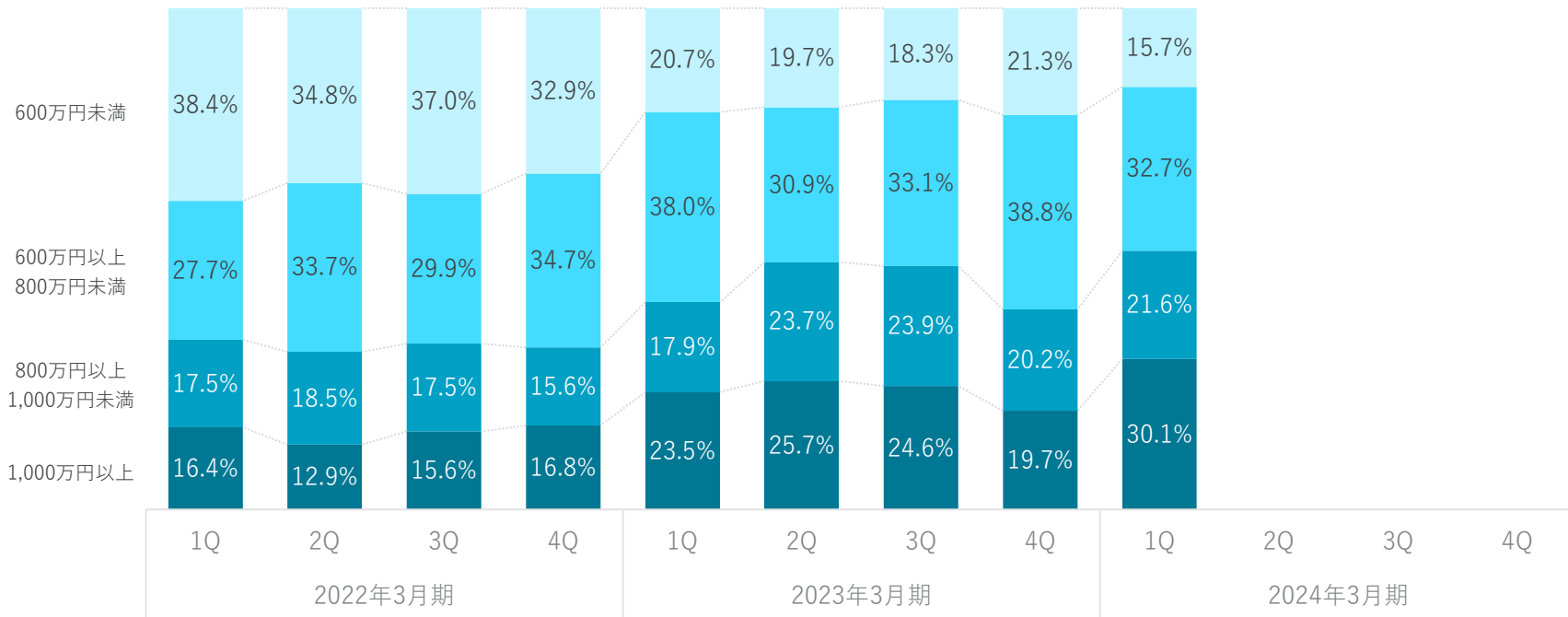
数少ないハイレイヤー採用ニーズを支援しきる力強さを発揮し、単価は過去最高値を大きく更新



注）人材紹介サービス売上の一部（業務委託等）は除く

【タレントエージェンシー】売上高分解－決定年収比率の推移

ハイレイヤー人材の採用ニーズを支援しきった結果、年収構成も高年収帯に集中



1Qの人材紹介売上高は、前期4Qの事業環境や受注高を踏まえると想定どおりの着地
1Qの受注高は、当期戦略の中核であった新規開拓が順調に進捗し、昨年入社者が大きく貢献

売上高

1Q売上高に対するコメント

- ◆ 前期4Q受注高どおりの計上
- ◆ コンサルティングは新規開拓の営業努力の成果として、前期4Qから持ち直す

前期4Q（2023年1-3月）の状況

- ◆ 米国のリセッション懸念等から、スタートアップ各社は採用コストの抑制傾向が強まる
- ◆ 訂正決算・業務フロー再構築等に一定の工数を割いた
- ◆ 希少人材・ハイレイヤーのニーズは強く、当社がそのニーズを支援できたことで、件数が減少・単価は増加

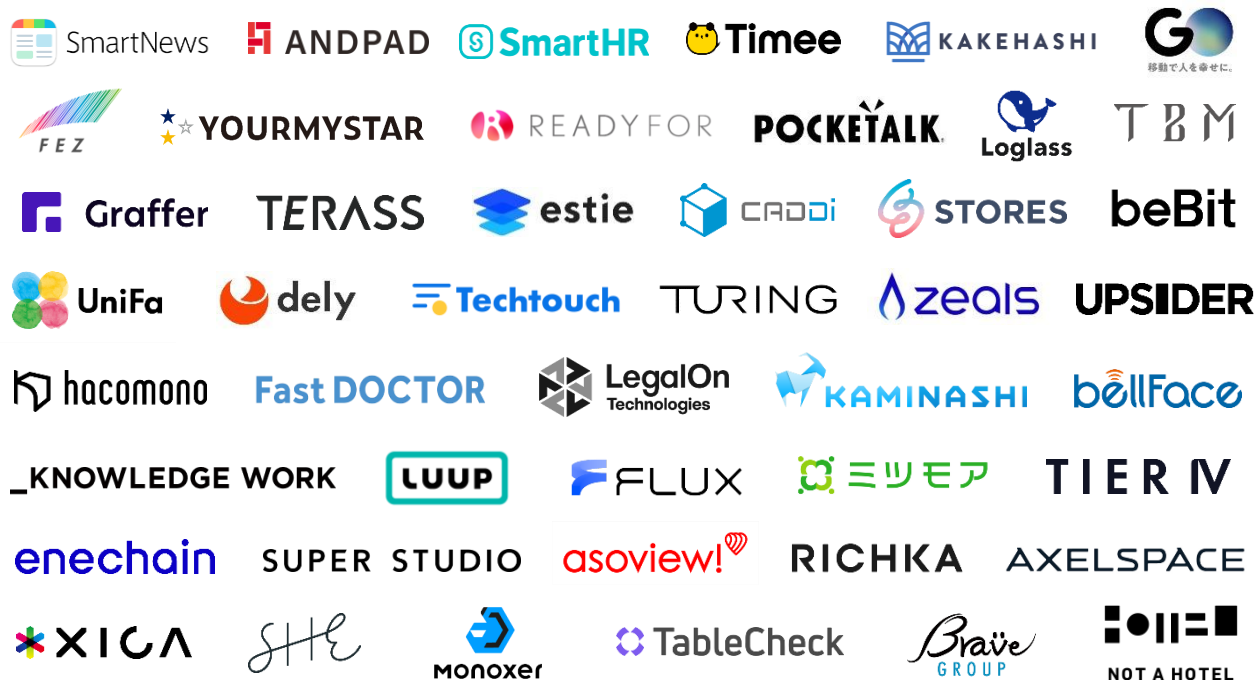
受注高

1Q受注高に対するコメント

- ◆ 人材採用強化を掲げるスタートアップのニーズに対し、ハイレイヤーを中心に支援ができた
- ◆ 在籍1年未満の中途社員を含む複数の社員が、当社が設定する年間売上高ラインに近い数字を単月で計上
前期の採用強化の効果が少しずつ表れ始めた
- ◆ 今期の重点施策であったPre-IPO企業群の新規顧客開拓は順調に進捗。開拓後の人材支援も順調に進捗

【タレントエージェンシー】人材紹介支援実績－新規顧客開拓も進行中

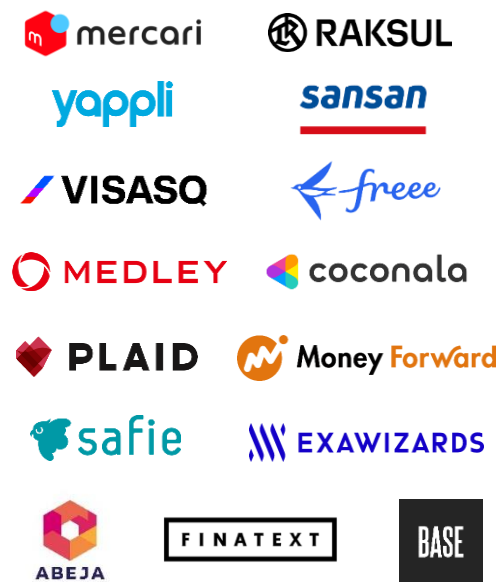
未上場スタートアップ



エコシステムビルダー（VC、イノベーション・キャンパス）



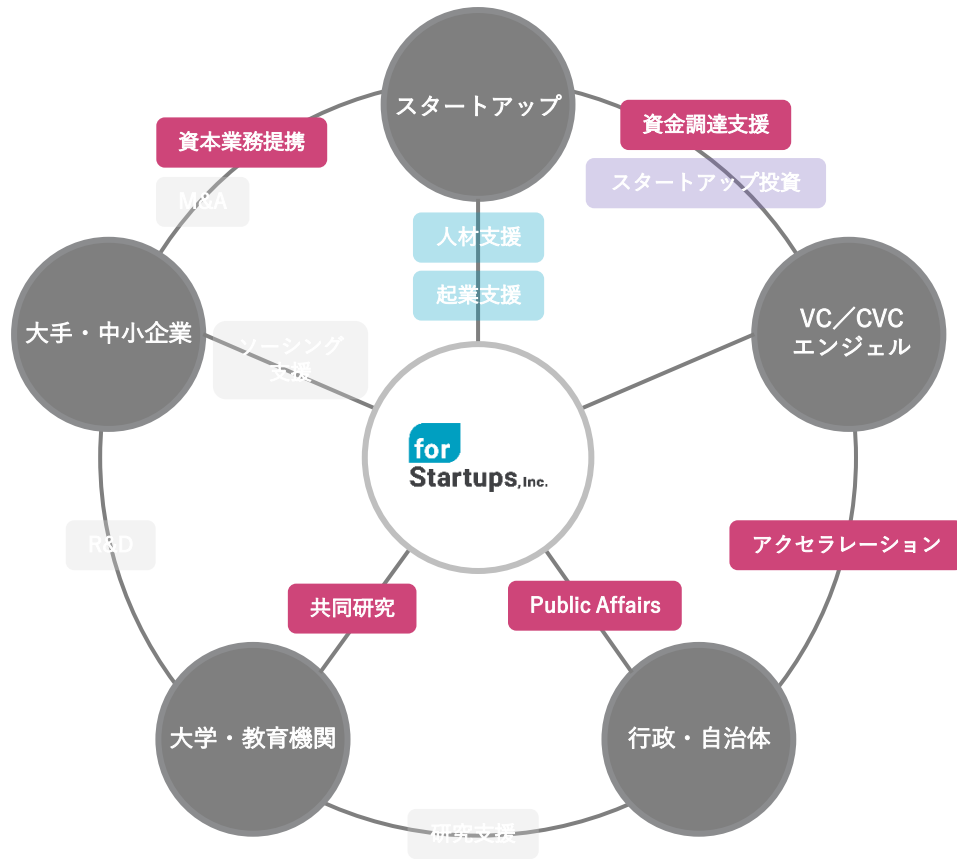
支援中に上場したスタートアップ



既存上場企業



Startup Eco System



Talent Agency

タレントエージェンシーサービス

#起業支援

#人材紹介

Open Innovation

オープンイノベーションサービス

#産官学連携

#エコシステム

Venture Capital

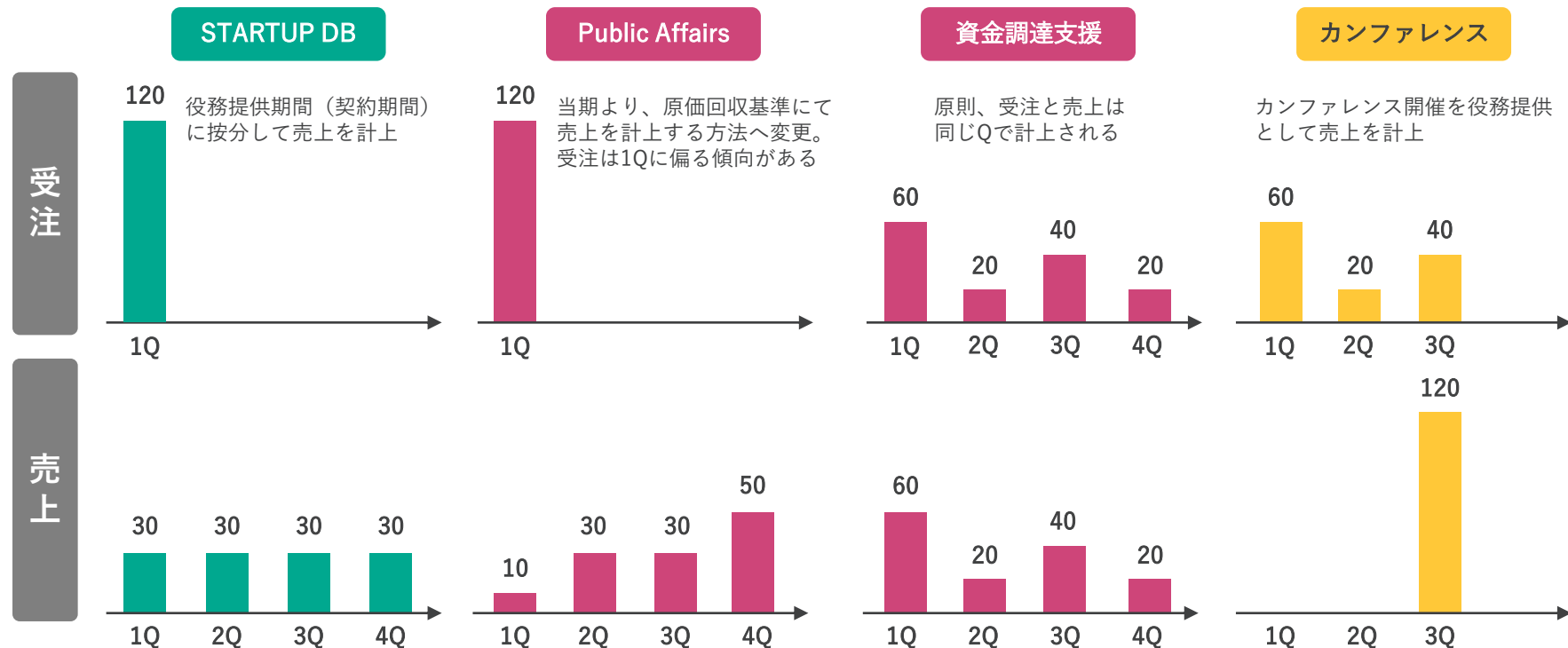
ベンチャーキャピタル

#投資

【オープンイノベーション】各サービスの計上フロー

サービスごとに受注・売上の計上方法・タイミングが異なる

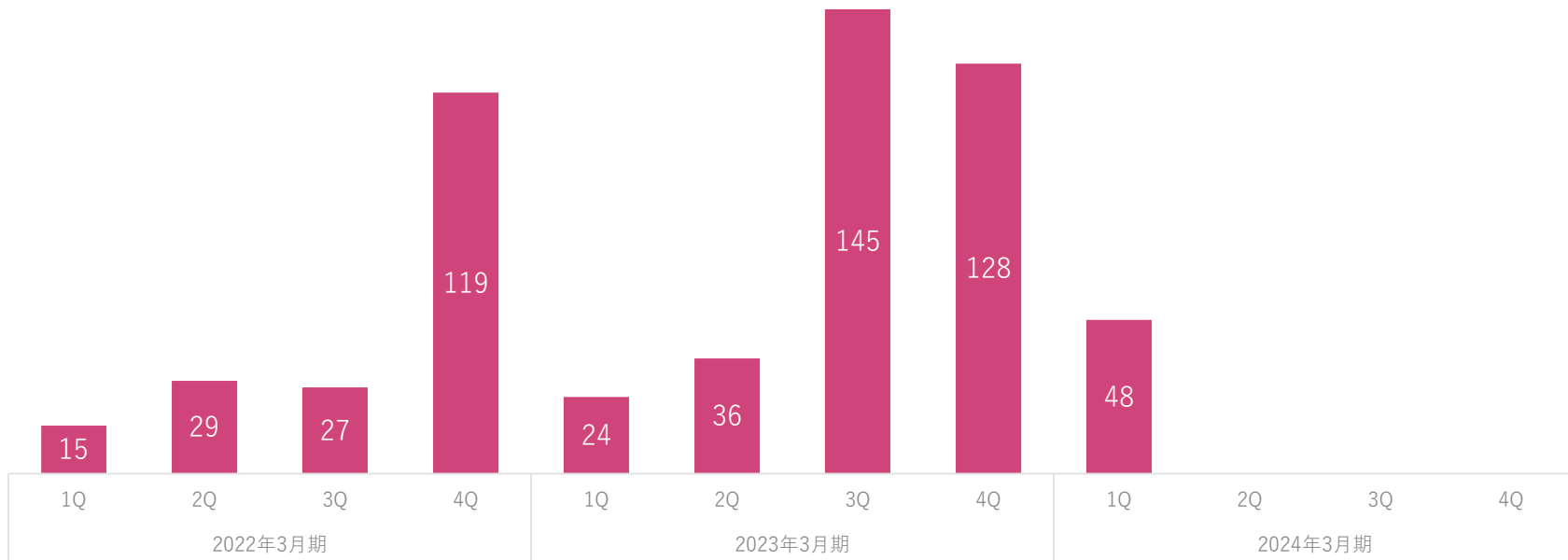
※各数字・計上方法等はわかりやすく簡易的に表現したものです



【オープンイノベーション】売上高の推移

売上計上時期の偏重はあるものの、前年同期比で着実に成長を続ける

(百万円)



【オープンイノベーション】慶應義塾と新産業創出のための協定を締結

フォースタートアップスと慶應義塾、研究・教育成果の社会実装を通じた新成長産業創出のための協定を締結。STARTUP DBを活用し、起業意識の醸成やスタートアップ理解の促進に取り組む



慶應義塾大学の設置法人である慶應義塾と
2023年5月に連携協定を締結

STARTUP DBの活用を通じて、

- 大学内でのスタートアップ理解の促進
- アントレプレナーシップ（起業）意識の醸成
に取り組む

【オープンイノベーション】Public Affairs – 23年度の取組み

23年度も地方公共団体を中心としたスタートアップ関連事業を積極的に受託



フォースタートアップス、浜松市の「スタートアップ成長支援事業」を受託。3年連続でスタートアップエコシステムの育成支援を実施



フォースタートアップス、関西広域連合の「関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業」を3年連続で受託



フォースタートアップス、広島県「令和5年度『ひろしまユニコーン10』プロジェクト環境整備業務」を受託。2年連続で『ひろしまユニコーン10』プロジェクトに従事



フォースタートアップス、愛知県「ディーブテック推進事業」を受託 (CIC Institute、株式会社リバネスと合同)



フォースタートアップス、中国経済産業局「令和5年度中国地域ものづくり中小企業事業化支援事業（オープンイノベーション・エコシステム構築事業）」を2年連続で受託



フォースタートアップス、愛知県「シンガポール国立大学連携事業」を2年連続で受託

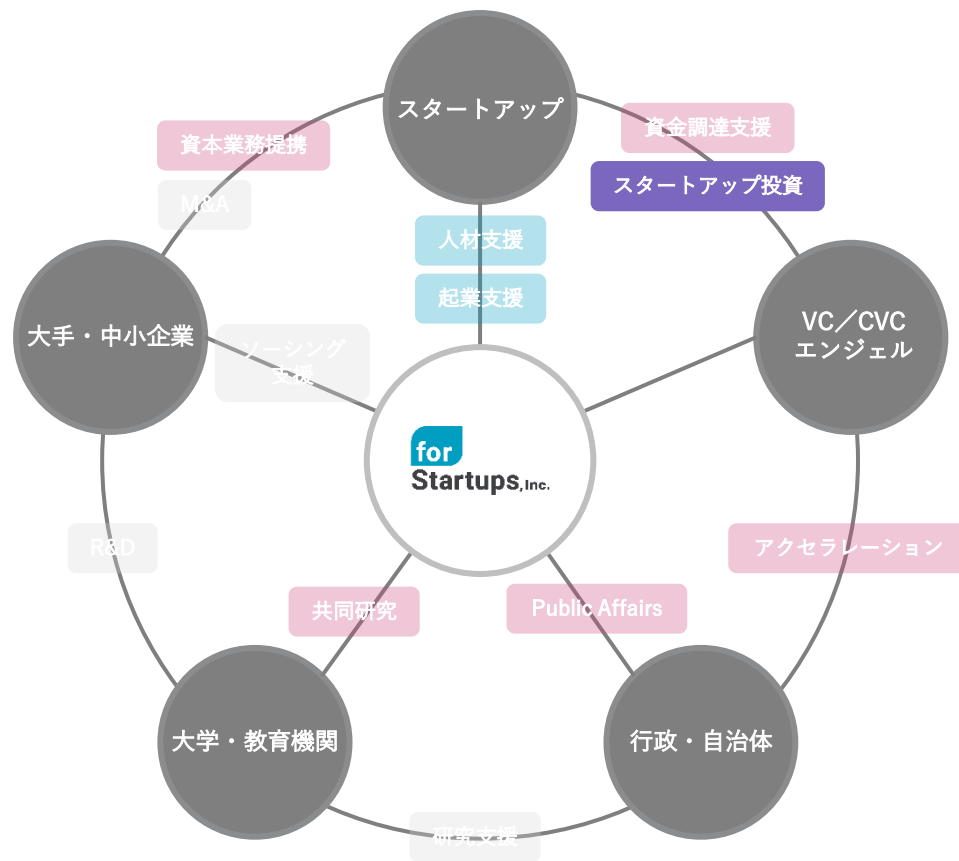


フォースタートアップス、大阪府の「ライフサイエンスアントレプレナーシップ人材育成及び事業化促進事業」に採択



フォースタートアップス、内閣府「令和4年度先導的人材マッチング事業」の間接補助事業者採択

Startup Eco System



Talent Agency

タレントエージェンシーサービス

#起業支援

#人材紹介

Open Innovation

オープンイノベーションサービス

#産官学連携

#エコシステム

Venture Capital

ベンチャーキャピタル

#投資

【ベンチャーキャピタル】投資先銘柄

投資先はミドル・レイターステージのタレントエージェンシーサービスの人材支援企業
スタートアップ企業に対し、人材と資金の両面で支援（ハイブリッドキャピタル）を実行



ベンチャーキャピタル事業



株式会社フェズ

2015年12月設立
リテールテック事業
(リテール業界のDXに関する事業)



ユアマイスター株式会社

2016年8月設立
当社の起業支援案件
サービスECプラットフォーム事業



READYFOR株式会社

2014年7月設立
クラウドファンディング事業
寄付・補助金マッチング事業



ポケットーク株式会社

2022年2月設立
翻訳機及び翻訳に関するソフトウ
エアの企画開発、製造、販売等



株式会社カケハシ

2016年3月設立
医療関連サービスの開発・提供

投資先がイグジット（IPO・M&A等による株式売却）した場合に、株式売却額が売上高、株式取得額が売上原価に計上される
当期は前期に引き続き、管理費用のみが発生

【ベンチャーキャピタル】投資事例－株式会社カケハシ

医療の未来をつくる壮大な挑戦を人材×資金のハイブリッドキャピタルとして支援



【人材】

全社員の4分の1、約70人がフォース
タートアップス経由で入社

【資金】

2022年、ベンチャーキャピタル事業に
てファンドから出資

ハイブリッドキャピタル 【人材×資金】

当社の造語で、「ヒト（人材）」と「カネ
（資金）」の支援を同時におこなうことで
企業成長を後押しする状態のこと

健康保険組合「VCスタートアップ健保」の設立に向けた業界団体に参画



フォースタートアップスキャピタル合同会社が、健康保険組合の新設に向けて組成された一般社団法人VCスタートアップ労働衛生推進協会に参画

6月に閣議決定された「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2023改訂版」にもスタートアップ支援の施策の一つとしてスタートアップ向けの健康保険組合設立が盛り込まれる。

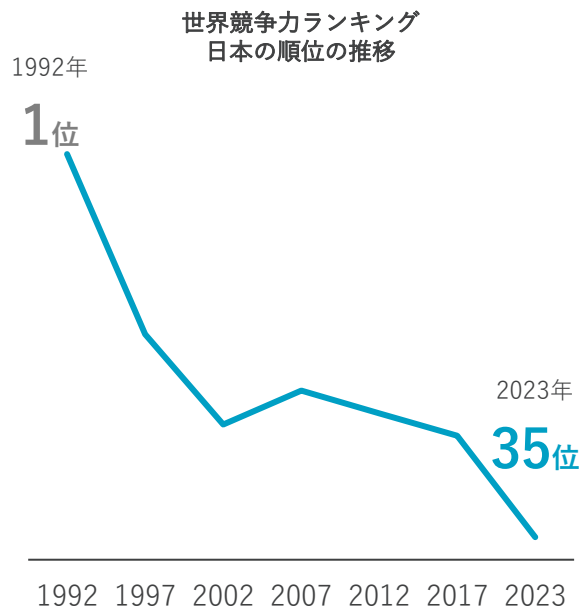
【一般社団法人VCスタートアップ労働衛生推進協会 概要】
ベンチャーキャピタルとその投資先スタートアップの産業保健および労働衛生水準の向上を目的として、2022年12月26日に設立されました。2021年に実施されたスタートアップのための新型コロナウイルスワクチン合同職域接種のメンバーが中心となり、より持続可能な形で産業保健体制の構築を目指しています。現在27社のベンチャーキャピタルと330社のスタートアップが当団体の会員として参画し、スタートアップエコシステムの労働衛生の推進のための調査活動、情報発信及び会員間の情報共有等に取り組んでいます。



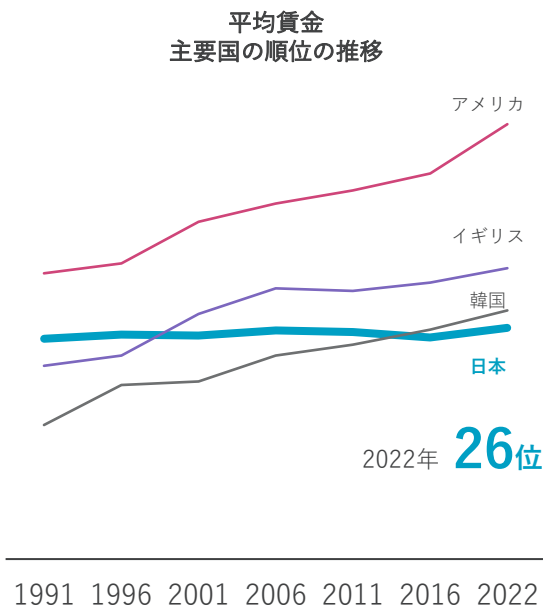
成長戰略

スタートアップ支援の重要性－日本が直面する社会課題

日本は国際競争力が年々低下し35位。平均賃金も停滞を続けOECD加盟国中26位
現在世界3位のGDPが2075年に12位となる予想も発表されており、日本の将来に希望がない状態



IMD世界競争力ランキングより当社作成



OECD (2022), "Average annual wages", OECD Employment and Labour Market Statistics (database)

GDPランキング予想

順位	2000年	2022年	2050年	2075年
1	アメリカ	アメリカ	中国	中国
2	日本	中国	アメリカ	インド
3	ドイツ	日本	インド	アメリカ
4	イギリス	ドイツ	インドネシア	インドネシア
5	フランス	インド	ドイツ	ナイジェリア
6	中国	イギリス	日本	パキスタン
～	～	～	～	～
12	韓国	韓国	エジプト	日本

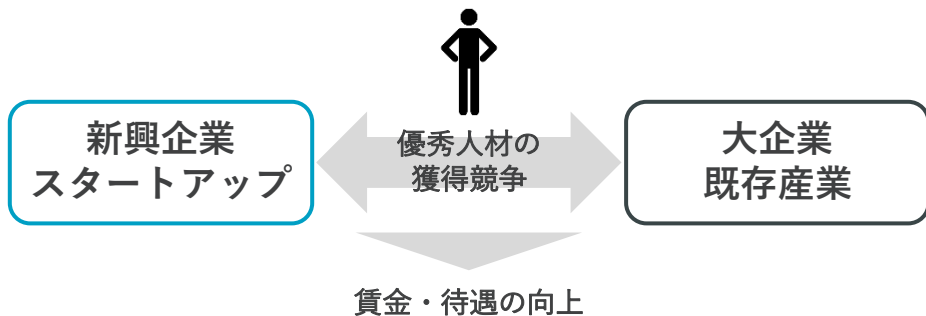
出所：ゴールドマン・サックス
「2075年への道 世界の成長鈍化も収れんは続く」 (The Path to 2075 — Slower Global Growth, But Convergence Remains Intact)

スタートアップ支援の重要性ー構造的賃上げにつながる

アメリカでは、雇用の半数を新興企業（スタートアップ）が創出しており、新興企業と大企業が優秀な人材を取り合う競争が起きることで、賃金の上昇に寄与している

アメリカの状況

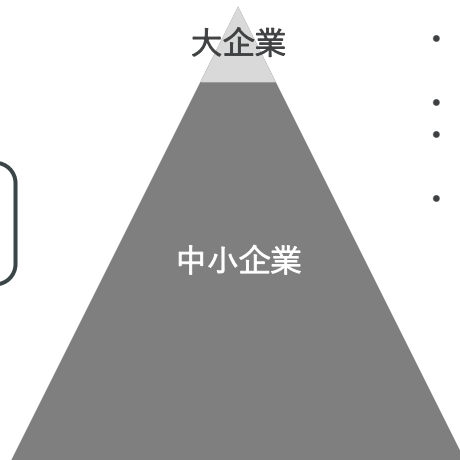
1980年から2010年の平均で、スタートアップが年290万人の雇用を創出
これは国全体の新規雇用の50%にあたる水準
出典「National Venture Capital Association “Yearbook 2021”」



【アメリカのスタートアップが大企業と勝負できる理由】

- ・ 起業家が多い。成功した起業家が次世代起業家へ投資を行う
- ・ 未上場企業への資金流入量が大きい
- ・ 上記2点を踏まえた、巨大なスタートアップ・エコシステムが存在

日本の状況



- ・ 大企業優位の状況が数十年続き、安定＝大企業就職のイメージが浸透
- ・ 競争力がない中小零細企業が多い
- ・ 米国比で大企業と呼ばれる企業群の雇用が少ない
- ・ 新産業が育つエコシステムが極小

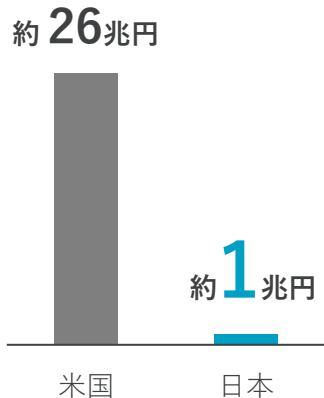
米国のように新産業が大企業群と勝負できる状況を作る必要がある

仮に米国の状況に近づくとすれば、
当社の介入価値は著しく上昇する

日本のスタートアップエコシステムの現状

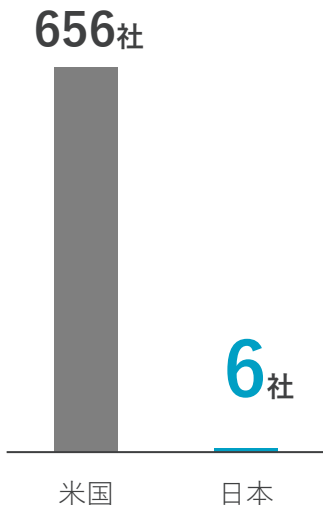
日本のスタートアップエコシステムは米国と比較すると極小。エコシステムが次世代の競争力の種になると考えれば、日本の経済成長は今後も停滞していく可能性

スタートアップ資金調達額
(2022年)



出所) 米国: CB Insights 2022 State of Venture Report
日本: STARTUP DB 為替は2022年12月末日現在の値

ユニコーン企業数
(2023年6月時点)



出所) 米国: CB Insights The Complete List Of Unicorn Companies (As of June 2023)
※ユニコーン企業: 評価額10億ドル以上の企業

日本のスタートアップエコシステムを取り巻く課題



出所) 第4回「産業構造審議会経済産業政策新機軸部会」(2022年2月16日) 提出資料より

スタートアップ支援の重要性ースタートアップ支援が国策に

スタートアップは、雇用創出・所得拡大・国の財政を支える成長ドライバーになりうる
2年連続で『骨太の方針』に組み込まれ、経済産業省を中心にスタートアップの重要性を発信

▼スタートアップ支援が国策となった現在までの歩み

2021.10	自由民主党総合政策集2021 J-ファイルにて「スタートアップの創出」が組み込まれる
2022.01	岸田首相年頭記者会見にて「スタートアップ創出元年」を宣言
2022.02	岸田首相がCIC Tokyo を訪問 (当社代表取締役社長 志水 雄一郎と挨拶)
2022.03	経団連が「スタートアップ躍進ビジョン」を公表
2022.06	経済財政運営と改革の基本方針 2022（骨太の方針）にて、スタートアップへの投資が明記される
2022.11	2022年度補正予算でスタートアップ支援に1兆円「スタートアップ育成5カ年計画」を公表
2023.06	経済財政運営と改革の基本方針 2023（骨太の方針）にて、スタートアップの推進が明記される

▼経済産業省を中心に、スタートアップ創出の重要性について積極的な情報発信がされるように

01 なぜスタートアップなのか

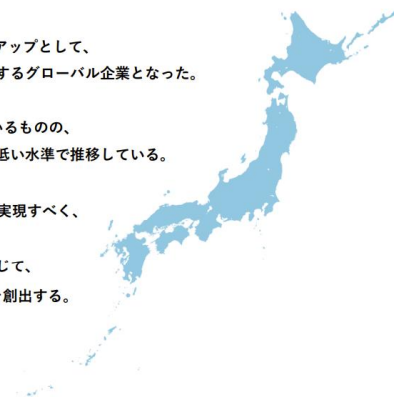


スタートアップこそ、課題解決と経済成長を担うキープレイヤーである。

我が国を代表する電機メーカーや自動車メーカーも、戦後直後に、20代、30代の若者が創業したスタートアップとして、その歴史をスタートさせ、その後、日本経済をけん引するグローバル企業となった。

しかし、2023年現在、多様な挑戦者は生まれてきているものの、開業率やユニコーン企業数は、米国や欧州に比べ、低い水準で推移している。

そこで、戦後の創業期に次ぐ、**第二の創業ブーム**を実現すべく、スタートアップの起業や規模拡大・成長の加速、既存大企業によるオープンイノベーションの推進を通じて、日本に**スタートアップを生み育むエコシステム**を創出する。



出所：経済産業省
『スタートアップ育成に向けた政府の取り組みースタートアップの力で社会課題解決と経済成長を加速する』

成長企業に資本を集中させ、持続的成長のためのエコシステムを形成

シリコンバレーのエコシステム要素を参考に、成長産業支援事業を推進

米国シリコンバレーのテックエコシステム6つの要素

Human Capital
人的資本

Strong Corporate Environment
強い企業環境

Strong University System
強力な大学システム

Financial Capital
金融資本

Adequate Infrastructure
充実したスタートアップ支援体制

Culture Conducive to Innovation
イノベーションを促進する文化

当社の成長産業支援事業における注力領域

人材

タレントエージェンシー

産官学連携・エコシステム

オープンイノベーション

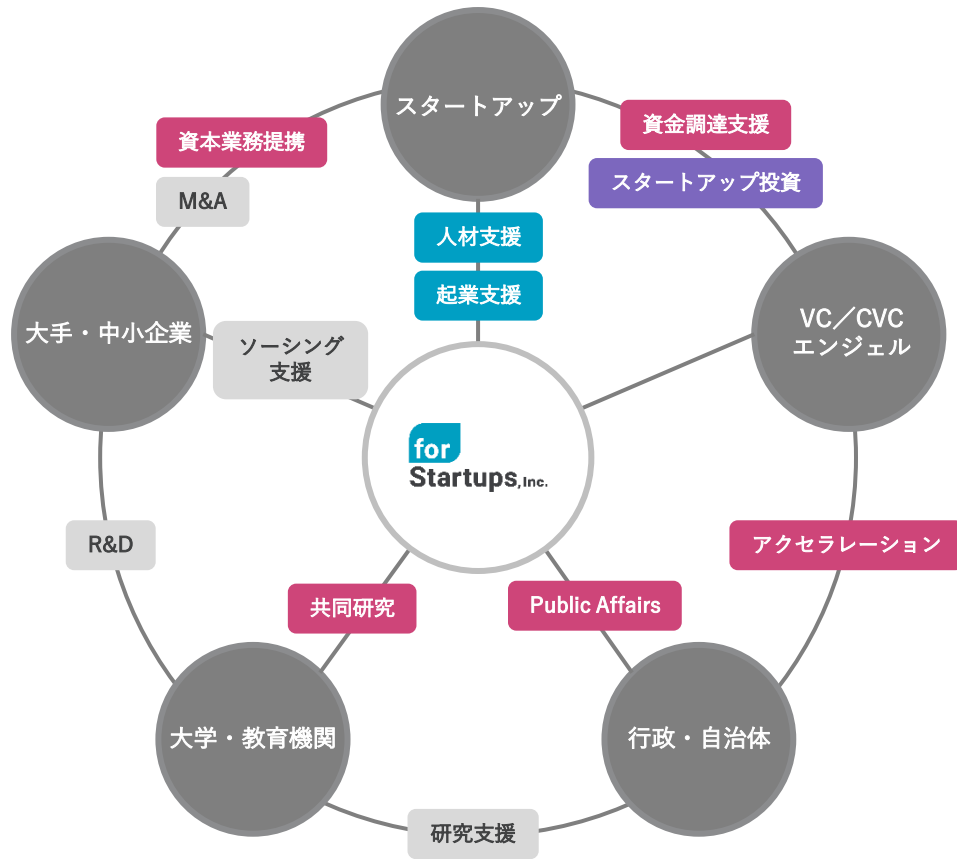
資金

ベンチャーキャピタル

*出所 “Stars Aligning: How Southern California Could Be the Next Great Tech Ecosystem MARCH 20, 2018” <https://www.bcg.com/publications/2018/stars-aligning-southern-california-next-great-tech-ecosystem>

JETRO調査レポート「南カリフォルニアのスタートアップ・エコシステム（ロサンゼルス（シリコンビーチ）、サンディエゴ、アーバイン）（2020年4月）」 <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2020/02/03dcf4dbb17e3f7c.html>

Startup Eco System



Talent Agency

タレントエージェンシーサービス

#起業支援

#人材紹介

Open Innovation

オープンイノベーションサービス

#産官学連携

#エコシステム

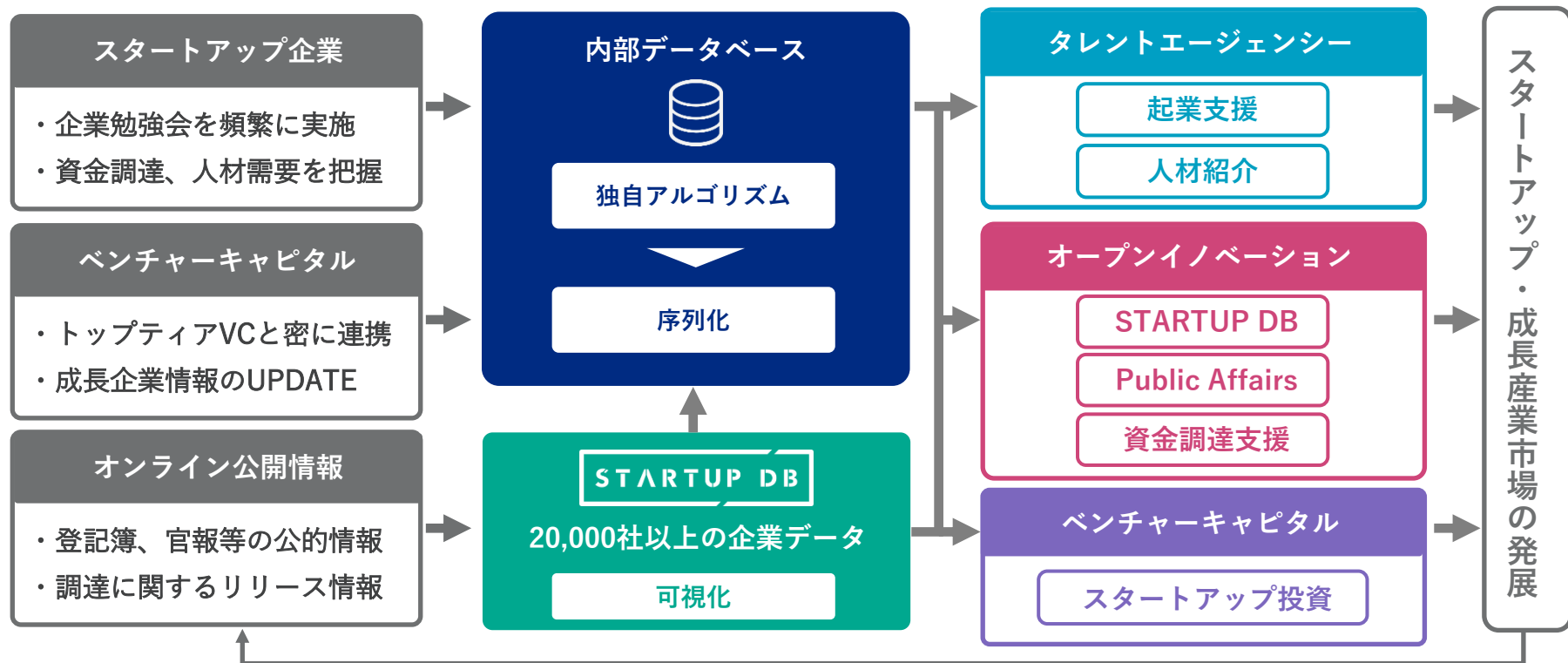
Venture Capital

ベンチャーキャピタル

#投資

【全社】 未公開情報を可視化しシナジーを創出するビジネスモデル

さまざまな情報を集約し、成長産業支援の各ビジネスへ展開



市場の正しい把握に必要な多種多様な情報

成長産業支援事業におけるタレントエージェンシーの位置づけ

起業家を生み出すこと・スタートアップ人材支援の2点を中核としている
キャッシュ・フローを生み出す力が最も強い「ヒト」がスタートアップの成長には不可欠である

ミッション・ビジョンに
もとづく将来像
“成長産業支援”

成長産業支援事業

大企業・スタートアップ問わず、イノベーションを推進するチームを支援する

当面のフォーカス
“スタートアップ支援”

起業

スタートアップ

大企業
(新規事業部門)

支援領域

ヒト

モノ

カネ

- 経営資源のうち「ヒト」が最もキャッシュ・フローを生み出す力を有している
→人材支援はスタートアップの成長に最も貢献する
- 米国と比較すると規模は小さいものの、VC・CVCに加え、デット調達の支援が進み、「カネ」の支援を行うプレイヤーは増加

【タレントエージェンシー】起業支援

人材紹介を営むチームとしては異例の「起業」をプロデュースできることが私たちの強み
起業に資する人材とVC・大学をマッチングさせることで、これまでに7社の起業を支援

VC連携



ユアマイスター株式会社（2016年8月設立）
代表取締役社長 星野 貴之
日本最大級のサービスECプラットフォーム運営



株式会社グラファー（2017年7月設立）
代表取締役/創業者 石井 大地
行政サービスのデジタル改革推進



株式会社TERASS（2019年4月設立）
代表取締役CEO 江口 亮介
不動産ITサービス運営



株式会社NABLA Mobility（2021年4月設立）
代表取締役兼CEO 田中 辰治
航空機業界の効率改善、地球全体の脱炭素に貢献するソリューションを、AIやデータを活用して提供



株式会社Yuimedi（2020年11月設立）
代表取締役 グライムス 英美里
ノーコードの医療データ特化型クレンジング・分析ツールの開発・提供



株式会社フェイガー

株式会社フェイガー（2022年7月設立）
代表取締役 石崎 貴紘
農業由来カーボンクレジットの生成、農家の脱炭素の取り組みの支援及びクレジット化

大学連携



Blue Practice株式会社（2019年2月設立）
代表取締役社長兼CEO 鈴木 宏治
医療シミュレータの開発・製造・販売

当社初の産学連携型起業支援であり、東北大学との連携した実績
一般企業と同様に大学研究機関においても、研究技術を事業化させる経営人材が重要である

【タレントエージェンシー】スタートアップ人材紹介における参入障壁

スタートアップ関連の情報が入る仕組みを構築し、参入障壁かつ強みになっている

大手人材紹介会社にとって
難易度が高く非効率



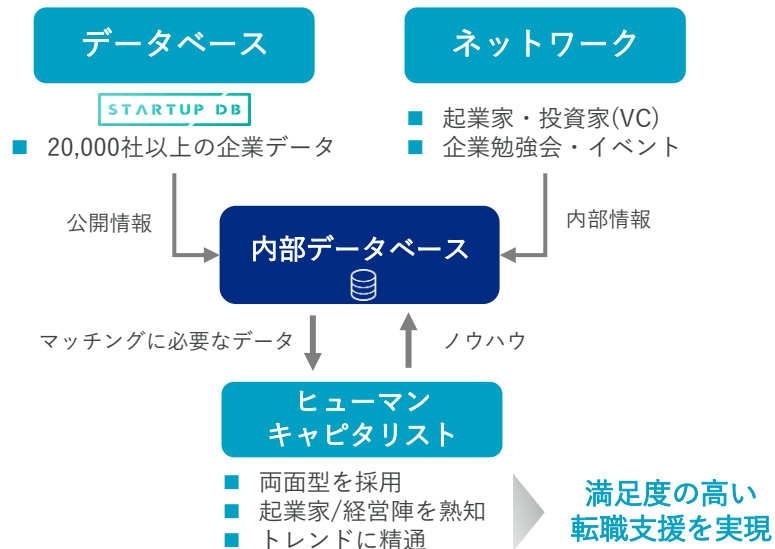
スタートアップ関連情報の
収集の仕組みを構築

強み

スタートアップ業界を取り巻く環境

業界特徴	動きが速く、キャッチアップコストが 高い
企業	小規模かつトレンドが変動するため需要が 不安定
求職者	経済合理性が相対的に低く優秀人材が 集まりにくい

大企業向け紹介の方が合理的



【タレントエージェンシー】強みー日本を代表するプレイヤーとのネットワーク

企業勉強会（年間150回以上）や自社イベントの開催を通じ、深い業界理解と企業理解を有する

*ご来社された起業家・投資家の皆様（抜粋）



勉強会：起業家や投資家との勉強会を高頻度で開催。最新の情報共有と相互のディスカッションを通じて、一次情報にもとづく深い理解をもとに支援を推進。



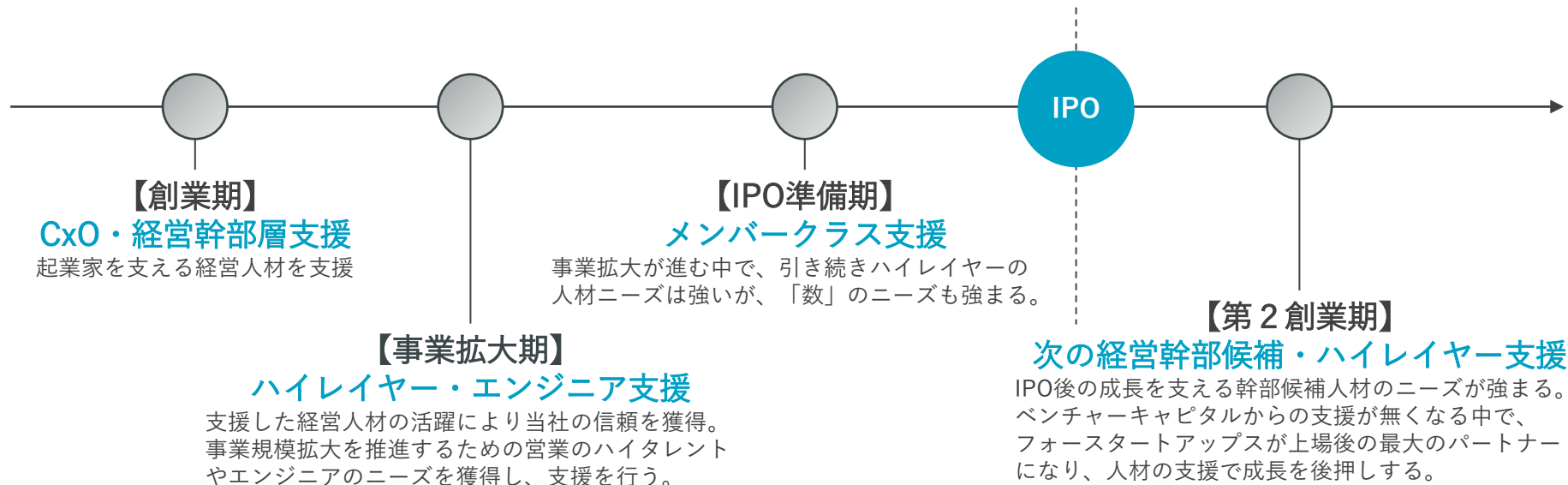
感謝祭：日本を代表する起業家・投資家・行政・メディアを当社グループオフィスに年間数回ご招待。情報交換を通じて成長産業コミュニティを強化。



交流会：世界最大級のスタートアップカンファレンスの投資家向け交流会や大企業のオープンイノベーションイベントを当社グループオフィスにて開催。

【タレントエージェンシー】競争優位性

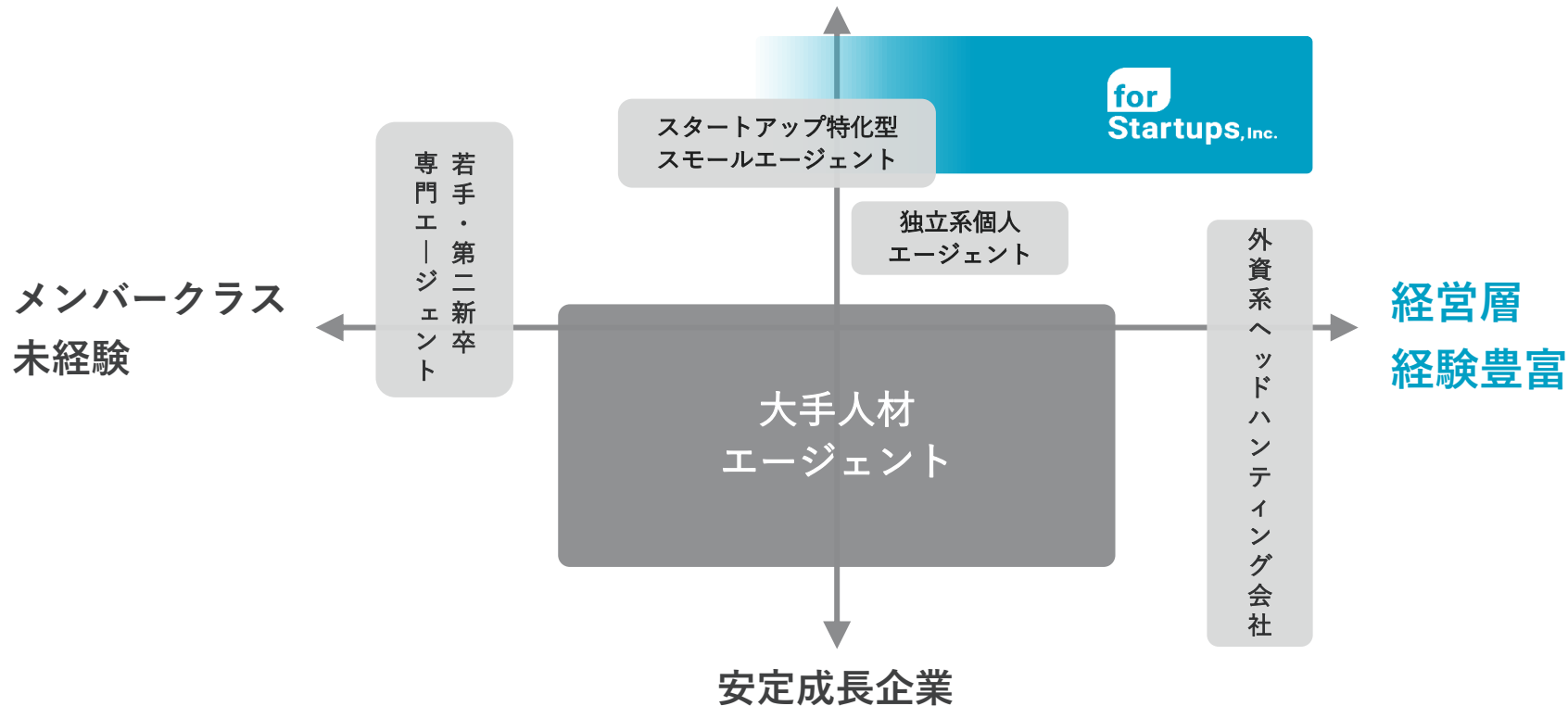
経営幹部層の支援からスタートし、成長をサポート。成長後はさらなる採用のニーズが生まれ、当社が人材支援してさらに成長。結果的に、当社自身が企業の採用ニーズを生む好循環を創出



上場企業も含めた日本の『成長企業』の最大のパートナーへ

【タレントエージェンシー】 高成長市場にポジショニング

スタートアップ・急成長企業



【タレントエージェンシー】スタートアップの成長戦略に合う人材支援

スタートアップ各社の戦略や文化を理解し、成長に必要な人材を支援できることが当社の強み



株式会社ヤプリ(グロス：4168)

2013年2月設立。2020年12月上場
CXO支援を軸に創業期の次の体制への移行を支援
「次の10年をつくる人材支援」の依頼も頂く

セーフィー株式会社(グロス：4375)

2014年10月設立。2021年9月上場
部門長クラス6名をはじめ約30名を支援
当社提案を起点にポストを用意し採用した人材も



株式会社タイミー

2017年8月設立。
合計資金調達金額*272億円（※デット含む）
CFO支援により当社の介入価値を実感して頂き、
社員の5分の1(累計65名)を当社から支援

株式会社ココナラ(グロス：4176)

2012年1月設立。2021年3月上場
現代表取締役社長CEO鈴木氏をCOOとして支援
マネージャーの半数弱が当社経由で入社



【タレントエージェンシー】CxO・ハイレイヤー人材の支援実績

多くのCxO・経営幹部層を支援実績をもつ。オウンドメディアにて「働き方の軸」を公開

EVANGE (エヴァンジェ)

<https://evange.jp/>

当社がご支援した**CXO・経営幹部層**の
代表的な支援事例をご紹介しているオウンドメディア



*ココナラ社の鈴木 歩氏は、COOとして支援後、2020年9月にCEOに就任
*ヤプリー社の山本 崇博氏は、CMOとして支援後、2023年1月に取締役執行役員COOに就任

HEROES (ヒーローズ)

https://note.com/forstartups_ep/

当社のエンジニア支援チームがご支援した**エンジニア**の
代表的な支援事例をご紹介しているオウンドメディア



READYFOR株式会社
エンジニアリングマネージャー
岡村 謙氏

株式会社ブレイド
エンジニア
安海 悠太氏

株式会社Mobility Technologies
エンジニア
金 志妍氏



株式会社ココナラ
バックエンド開発グループ Group
Manager
江口 桐土氏

株式会社バニッシュ・スタンダード
エンジニア
大竹将司氏

株式会社SmartHR
情報セキュリティマネジメント担当
桑原 良二氏
セキュリティエンジニア 岩田 季之氏

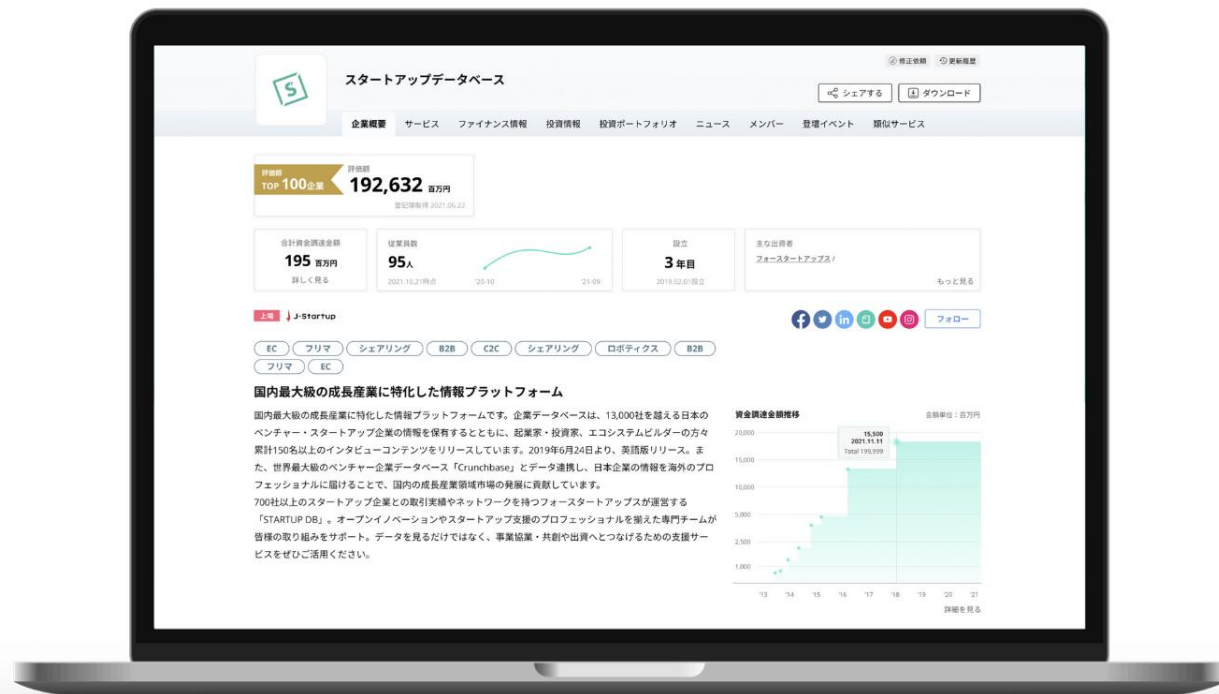


※東京商工リサーチ調べ。有料、無料会員数合計。2023年6月末時点。

20,000社以上の成長企業を集約した

成長産業に特化した プラットフォーム

STARTUP DBは、スタートアップの企業概要、
資金調達情報、評価額、特許情報などの情報を集
約した国内最大級のプラットフォーム
スタートアップの情報に限らず、投資家や投資企
業のポートフォリオや GP / LP の情報も集約



【オープンイノベーション】STARTUP DB 導入企業・提携先

大手の事業会社を中心に、VCや外資系企業も導入
信頼性の高い情報源として、メディアや行政機関への情報提供、各大学との共同研究を実施

ENTERPRISE 導入企業

事業会社を中心に、金融機関、コンサル/調査会社
や外資系企業も利用



導入企業（一部抜粋）

政府公共機関

内閣府や地方自治体
新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
科学技術振興機構(JST)との連携

金融機関

SMBCグループとの業務提携を通じた、
スタートアップエコシステム構築への取り組み



海外

世界最大級のスタートアップデータベース
『Crunchbase』と日本初の業務提携



アカデミア

慶應義塾との連携協定を締結
研究技術の社会実装や起業家教育で連携
大学発スタートアップの支援



学術研究

学術論文・調査研究用のデータ提供等による
共同研究

JASVE 一般社団法人日本ベンチャー学会
The Japan Academic Society for Ventures and Entrepreneur



メディア

Forbes Japan

テレビ朝日

日本経済新聞

Bloomberg

週刊東洋経済

DIAMOND SIGNAL

読売新聞

日経ビジネス

日経ヴェリタス

月刊事業構想

日刊工業新聞

CNET Japan

Yahoo! ニュース

【オープンイノベーション】資金調達支援実績例

大企業・CVCとスタートアップとのマッチングを支援し、オープンイノベーションを推進



株式会社Luup
×
NOBUNAGAキャピタルビレッジ株式会社



株式会社エアロネクスト
×
JA三井リース株式会社



株式会社iYell
×
SREホールディングス株式会社



株式会社WizWe
×
エムスリー株式会社



株式会社NearMe
×
株式会社大林組

【オープンイノベーション】Public Affairs－官公庁等との連携

Public Affairsにおいて、政府・官公庁・自治体・大学・経済団体等と連携を実施
今後、更なる連携を深め事業を通じてスタートアップエコシステムの発展に貢献

加盟団体	
日本経済団体連合会（経団連）	会員、スタートアップ委員会企画部会/スタートアップ政策タスクフォース
新経済連盟（新経連）	会員
経済同友会	会員、ラウンドテーブル・クロスリーチ PT副委員長
日本ベンチャーキャピタル協会	会員、ベンチャーエコシステム委員
中央政府事業採択事例	
内閣府	「令和2年度スタートアップ・エコシステム海外発信調査」事業
経済産業省	J-Startup Supporters選定企業、経済産業省令和3年度「SHIFT(x)」事業 総合アドバイザー
NEDO	スタートアップ向け人材支援事業の取り組み状況に関する調査事業
JETRO	日本におけるスタートアップエコシステムを海外に発信するための調査及び広報活動
大学・高専との連携事例	
みちのくアカデミア発スタートアップ 共創プラットフォーム	東北・新潟の10大学で組成されたプラットフォーム。 東北から国内外の課題解決に資する大学発スタートアップの創出に協力機関として参画
高専インカレワークショップ	S M B C 日興証券主催のイベントで高等専門学校の学生向けの起業マインドアップ講義を実施

【オープンイノベーション】Public Affairs－エコシステム拠点都市との連携

内閣府による「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」にもとづく
スタートアップ・エコシステム拠点都市8拠点のうち5拠点で関係を強化

大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

関西スタートアップ・エコシステム
情報発信事業
(3年連続－2021年度・2022年度・2023年度)



大阪府

ライフサイエンスアントレプレナー
シップ人材育成及び事業化促進事業



大阪府

海外プロモーションモデル事業



京都市
CITY OF KYOTO

「戦略的首都圏企業連携推進業務」
企画・運営業務



京都府産業創造の森

インキュベーションプログラム

広島地域イノベーション戦略推進会議



広島県

『ひろしまユニコーン10』
プロジェクト環境整備業務



経済産業省
中国経済産業局

中国地域ものづくり中小企業事業化支援事業
(オープンイノベーション・エコシステム構築事業)

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会



みちのくアカデミア発スタートアップ共創
プラットフォームに協力機関として参画

東京コンソーシアム



港区立産業振興センター

スタートアップ事業成長プログラム

Central Japan Startup Ecosystem Consortium



浜松市

スタートアップ成長支援事業
Next Innovator 育成事業



愛知県

シンガポール国立大学連携事業
(2年連続－2022年度・2023年度)



愛知県

ディープテック推進事業
(CIC Institute、株式会社リバネスと合同)



『成長産業カンファレンス2023』を11月16日に開催

GROWTH INDUSTRY CONFERENCE

2023.11.16 THU

ハイブリッド開催(渋谷ヒカリエホール・オンライン)

参加費無料



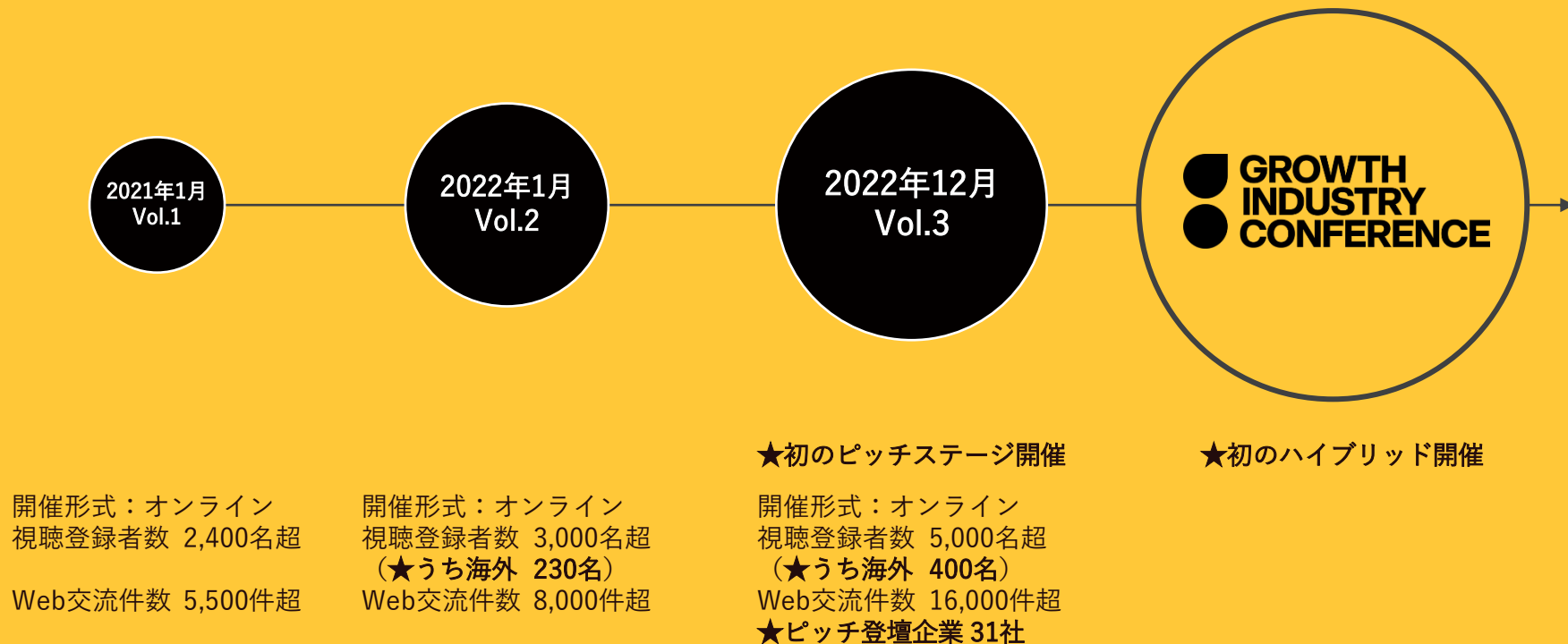
▲ 現時点で公開している登壇者



<https://growth.forstartups.com/>

成長産業カンファレンスの歩み

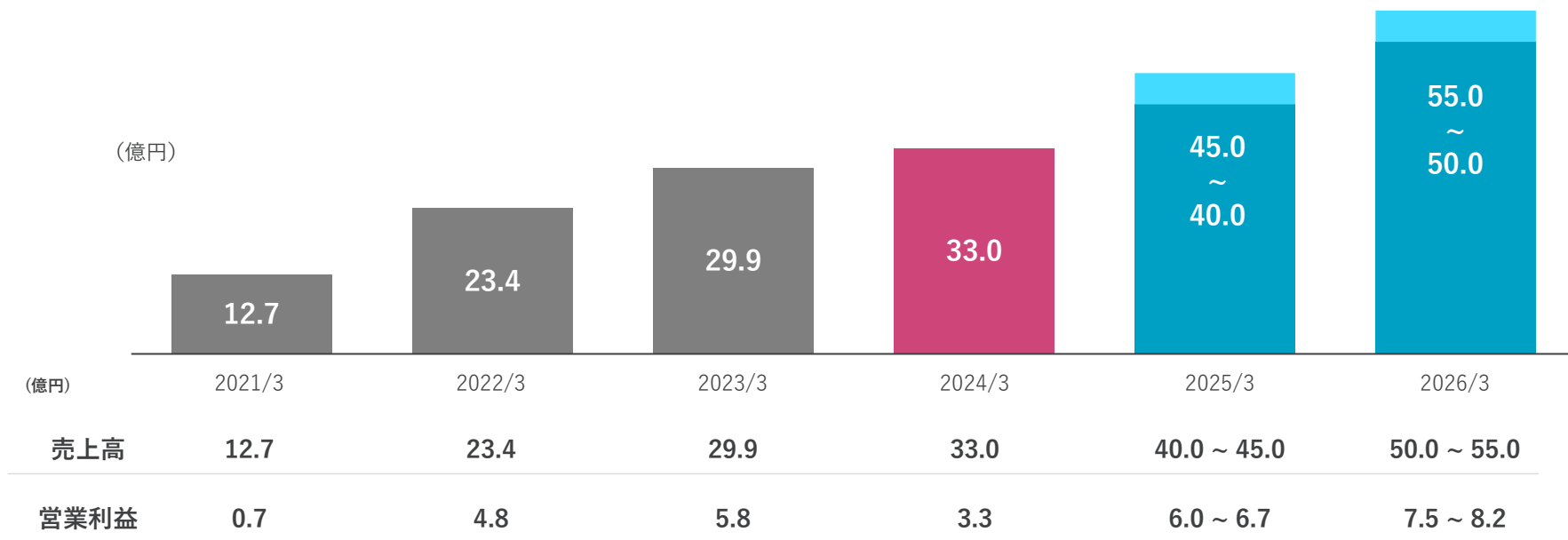
2021年1月のオンライン開催からスタートし、次回で4回目の開催
海外投資家を巻き込み、オープンイノベーションを推進する日本最大級のカンファレンスへ成長



2026年3月期に連結売上高50億円超を目指す

25年3月期以降は営業利益率は15%程度を原則とし、全社CAGRの向上を見据えた再投資を行う

連結売上高計画



for Startups

すべては、スタートアップスのために。



Appendix

社名	フォースタートアップス株式会社 (英語名; for Startups, Inc.)
設立	2016年 9 月
本社所在地	東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー 36F
正社員数	186名 (2023年6月30日時点)
資本金	226百万円 (2023年6月末)
事業内容	成長産業支援 -タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業 -ベンチャーキャピタル事業
上場市場	東京証券取引所グロース市場 (証券コード: 7089)
職業紹介許可番号	13-ユ-307946
グループ会社	フォースタートアップスキャピタル合同会社
加盟団体等	日本経済団体連合会 (経団連) 会員 新経済連盟 (新経連) 会員 日本ベンチャーキャピタル協会 (JVCA) 賛助会員 経済産業省J-Startup Supporters選定企業



2023年6月7日「フォースタートアップス感謝祭」より当社役員及び社員の集合写真



代表取締役社長
志水 雄一郎

株式会社インテリジェンス(現パーソルキャリア株式会社)にて『DODA』立ち上げなどを経て、2016年に株式会社ネットジンザイバンク(現フォースタートアップス株式会社)を創業。2016年『Japan Headhunter Awards』にて国内初殿堂入りHeadhunter認定。日本ベンチャーキャピタル協会ベンチャーエコシステム委員会委員/経団連スタートアップ政策タスクフォース委員



常務取締役
タレントエージェンシー本部長
恒田 有希子

株式会社サミネットワークス入社後、株式会社メタップスに入社。同社の事業統括責任者を経て、2016年10月に当社入社。2018年4月に執行役員就任後、タレントエージェンシー本部を統括し、2019年に取締役に就任。2021年より常務取締役就任。第17回グロービス アルムナイ・アワード「創造部門」を受賞。



取締役 コーポレート本部長
菊池 烈

有限責任監査法人トーマツに入所後、国内企業・グローバル企業の法定監査業務のほか、内部統制構築支援や国際会計基準(IFRS)の導入支援などの業務に関わる。2018年にフォースタートアップス株式会社に監査役として参画。その後、コーポレート本部長に就任し、バックオフィス全般を掌管。2019年取締役に就任。公認会計士。



取締役
アクセラレーション本部長
清水 和彦

株式会社グローリアス、株式会社RSS広告社(現Unipos株式会社)を経て、株式会社セントメディア(現株式会社ウィルオブ・ワーク)にてネットジンザイバンクの立ち上げに参画。2019年6月に取締役兼人事本部長就任、2019年7月より取締役兼アクセラレーション本部長。2021年5月にフォースタートアップスキャピタル合同会社職務執行者に就任。



社外取締役
齋藤 太郎

株式会社電通入社後、2005年に株式会社dofを設立し、2009年に同社代表取締役社長に就任。株式会社ZOZO社外取締役、株式会社CARTA HOLDINGS社外取締役、Sansan株式会社社外取締役、株式会社CC共同代表。2019年より当社社外取締役に就任。



社外取締役
梅澤 高明

CIC Japan会長。国内最大規模の都心型イノベーション拠点CIC Tokyoを2020年に開設。A.T. KEARNEYの日本法人会長を兼務。日米で25年にわたり、戦略・イノベーション・マーケティング・組織関連のコンサルティングを実施。観光、都市政策、知財戦略、クールジャパン、税制などのテーマで政府委員会の委員を務める。2022年より当社社外取締役に就任。



社外取締役常勤監査等委員
志磨 純子

日本長期信用銀行(現株式会社新生銀行)入行後、Coopers & Lybrandロンドン事務所を経て、2002年明治監査法人(現アーク有限責任監査法人)に入所、会計監査に従事。2016年コロブラに入社し、内部監査を担当。2018年当社社外監査役に就任し、2023年より当社社外取締役監査等委員に就任。



社外取締役監査等委員
堀内 雅生

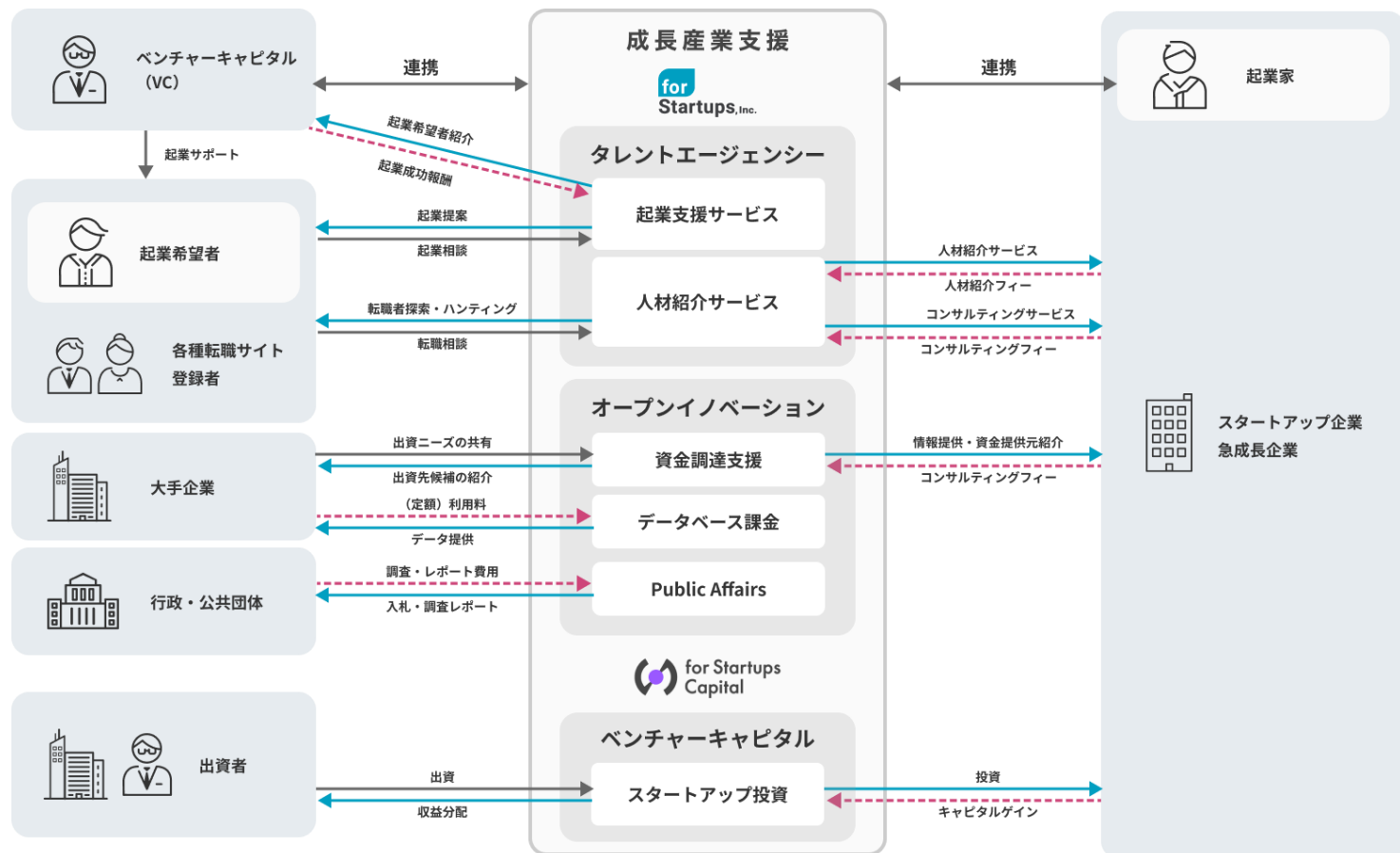
日本インベストメント・ファイナンス株式会社、株式会社インテリジェンスを経て、株式会社サイバーエージェント監査役、U-NEXT(現USEN-NEXT HOLDINGS)取締役管理本部長を歴任。株式会社USEN-NEXT HOLDINGS常勤監査役、株式会社サイバーエージェント社外取締役(監査等委員)。2020年当社社外取締役に就任し、2023年より当社社外取締役監査等委員。



社外取締役監査等委員
秋元 芳史

2000年弁護士登録、あさひ法律事務所(現西村あさひ法律事務所)にて勤務後、グリー株式会社の社内弁護士を経て、2014年独立。原口総合法律事務所パートナー。株式会社ギフティ社外監査役、株式会社ミラティブ社外監査役。2018年当社社外監査役に就任。2023年より当社社外取締役監査等委員に就任。

成長産業支援における各事業系統図



特段の構造的変化はなく財務健全性は維持

(百万円)	2023年3月期 (前期末)	2024年3月期 1Q
流動資産	2,567	2,373
現金及び預金	1,745	1,534
営業投資有価証券	463	463
固定資産	402	369
資産合計	2,969	2,742
流動負債	779	484
未払金	426	177
短期有利子負債	66	37
負債合計	779	484
純資産	2,190	2,258
自己資本	1,767	1,838
非支配株主持分	405	399
負債・純資産合計	2,969	2,742

- 総資産現預金比率：55.9%
- 自己資本比率：67.0%

四半期業績・販管費推移

(百万円)	2022年 3 月期				2023年 3 月期				2024年 3 月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	525	569	537	716	709	728	768	792	729			
売上総利益	414	442	426	590	585	591	643	637	618			
販管費	302	301	327	454	421	437	473	539	517			
人件費	230	229	240	255	301	302	326	365	376			
採用費	8	6	5	10	13	17	8	23	8			
地代家賃	19	23	28	42	32	32	32	32	32			
減価償却費	1	1	14	15	4	5	3	3	3			
その他	41	39	39	129	70	79	103	115	96			
営業利益	112	140	98	136	163	153	169	97	101			

注) 百万円未満切捨て、2022年3月期第2四半期より連結決算開始

人的資本関連データ

(2023年6月30日現在)

正社員数	186名	
男女比	男性：73.1%	女性：26.9%
管理職男女比	男性：75.0%	女性：25.0%
新卒・中途割合	新卒：21.0%	中途：79.0%
	※分社化前より在籍している社員はすべて中途を含む	
平均勤続年数	1.89年	
平均年齢	29.4歳	
取締役数	9名（監査等委員を含む）	
社外取締役割合	55.6%	
取締役男女比	男性：77.8%	女性：22.2%

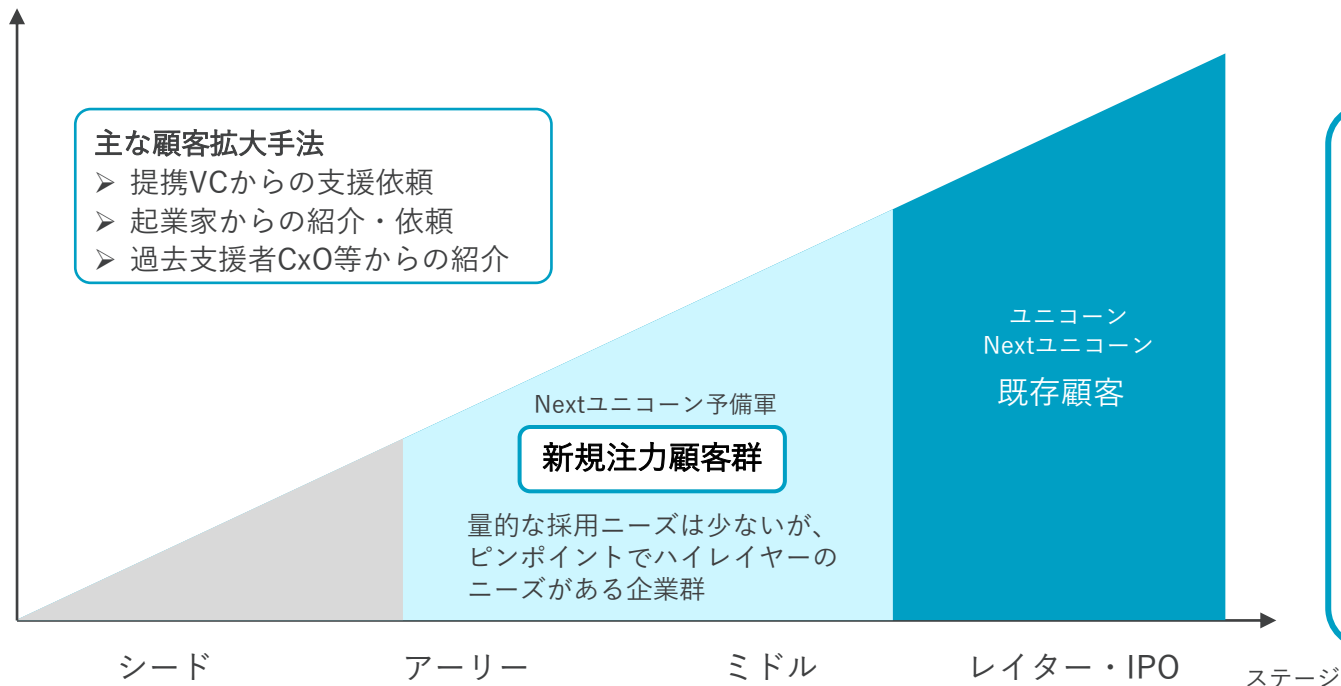


2023年4月1日入社の新卒社員

【当期重点施策①】 Pre-IPOスタートアップの顧客拡大

直近は社内リソースの観点から、レイターステージの厳選顧客への支援を中心に行っていた
人員増加を背景に、次のユニコーン企業になりうるチームを支援するための『種まき』を進める

事業規模（採用ニーズ）



フォースタートアップスの強み
自分たちの力で市場を創れる

アーリー期でハイレイヤーや
ボードメンバーを支援

数年後

採用ニーズの拡大
VC事業から資金支援

数年後

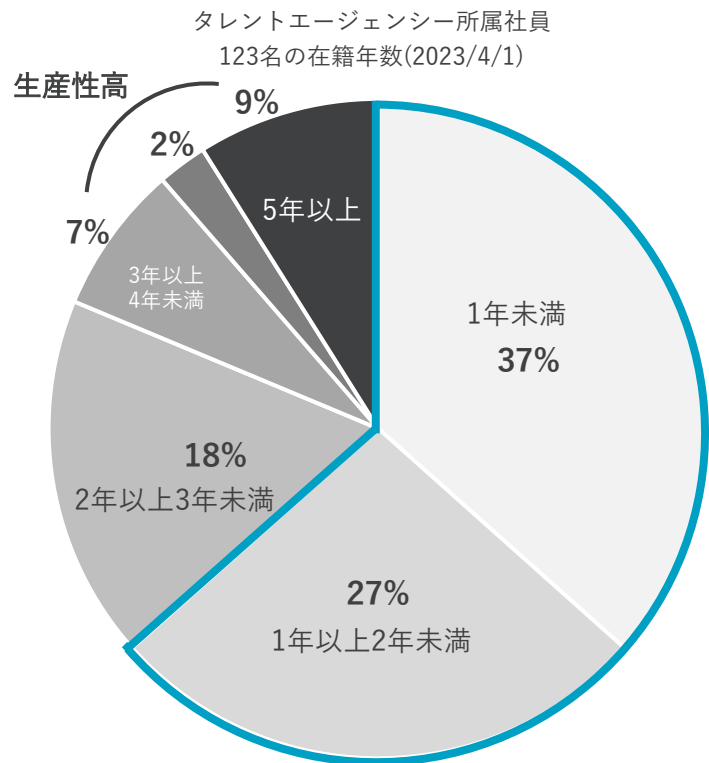
IPO後も継続支援

数年後

グロス企業の経営層の
人材紹介シェアNo.1へ

【当期重点施策②】 人材育成の強化

優秀かつ伸びしろのある人材採用は継続的にできているが、在籍年数が短い社員の割合が増加一時的に生産性が下がるものの、チームの総合力向上のために人材育成の強化を図る



【具体的な育成施策】

- スタートアップ企業の情報に加え、経営に関する知識や最新ビジネストレンドのインプット
 - 起業家・有識者等から学ぶ「進化塾」の開催
 - 各スタートアップの経営戦略を学ぶ「勉強会」



- 転職希望者との面談時、ベテラン・エース社員の同席
- 両面型として担当企業を積極的に任せ、ヒューマンキャピタリストとして担当企業支援の責任を負うとともに、将来のマネジメント候補を育成する
- 人材紹介業における重要な法令、契約内容等も踏まえた総合的な育成研修の充実化

【当期重点施策③】 STARTUP DBへの投資

STARTUP DBをハブとした事業展開を見据えた投資を実行

- 大企業・CVC会員の獲得に向けた広告投資
- 掲載情報の充実化、掲載社数の増加
- スタートアップ関連ニュース・タイアップ記事の配信



STARTUP DB

カンファレンス

- ・ 海外投資家との接点拡大
- ・ 日本のシンボルカンファレンスへ成長

資金調達支援

- ・ オープンイノベーションの収益へ貢献
- ・ マッチング精度の向上

起業家を集めるPodcast番組「ニュースタ」

新進気鋭のシード・アーリーフェーズのスタートアップ起業家が毎週出演

Navigator 森心之介 Shinosuke Mori

Director 近藤 颯人 Hayato Kondo

Community Manager 鈴木 裕子 Satoko Suzuki

Podcast番組 毎週 火曜/木曜配信!

ニュースタ

今注目の起業家のリアル

for Startups, Inc.

■コンテンツ

- ・ ラジオピッチ (毎週火曜日配信)
- ・ ミックストーク (毎週木曜日配信)

起業家同士の対談により、真摯に事業に向き合う姿からプライベートな一面を深掘りする

■番組URL (Spotify)

<https://open.spotify.com/show/41nBdP2ulVQ4dLyIxQEJck>



STARTUP DB

徹底解説

2023 上半期国内 スタートアップ投資動向

2023 8/24 木
オンライン 12:00 - 13:30



株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ
代表パートナー

今野 穰



インキュベイトファンド
代表パートナー

村田 祐介

[視聴申込](#)



当社の適時開示・法定開示情報などのIR情報を配信しております。
登録は以下URLまたは二次元バーコードからご登録いただけます。

<https://www.magicalir.net/7089/irmail/index.php>



▼以下のようなメールがタイムリーに届きます

【フォースタートアップス株式会社】適時開示情報のお知らせ

受信トレイ ×

フォースタートアップス株式会社

6月30日(金)

フォースタートアップス株式会社からIR情報のお知らせです。

日時：2023/06/30 15:00

カテゴリ：その他

文書名：支配株主等に関する事項について

ファイル： <https://fs2.magicalir.net/tdnet/2023/7089/20230626510582.pdf>

日時：2023/06/30 15:00

カテゴリ：その他

文書名：事業計画及び成長可能性に関する事項

ファイル： <https://fs2.magicalir.net/tdnet/2023/7089/20230626510584.pdf>

このメールは当社の適時開示・法定開示情報などのIR情報を自動で配信する仕組みとなっております。

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



すべては、スタートアップスのために。